# ふくさき町の教育

福崎町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
（平成２７年度事業分）

平成２９年１月

福崎町教育委員会

＜目　　次＞

Ⅰ　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

Ⅱ　実施方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

Ⅲ　事務事業点検・評価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

学校教育課

（１）就学前の子育て支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５～21

（２）教育委員会事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22～27

（３）学校関係事業・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・　28～41

（４）給食センター事業・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・　78～81

社会教育課

（５）社会教育事業・・・・・・　・・・・・・・・・・・・　42～47、60～63

（６）芸術・文化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48～51、54～58

（７）図書館事業・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　52・53

（８）文化財事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64～73

（９）社会体育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・59、74～77、82～88

Ⅳ　学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　89

Ⅴ　参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　97

■平成２７年度福崎町教育の努力目標・・・・・・・・・・・・・・・・　99

■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱・・・・・・・・・・・・・・　105

## Ⅰ　はじめに

平成１９年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成２０年４月１日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成２７年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様にこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

**地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）**

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第二十六条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ　実 施 方 針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

１　趣　　旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

２　実施方法

ア　点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。

イ　点検及び評価は、毎年度１回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとします。

ウ　教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は１年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。

エ　教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。

オ　教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。

カ　教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとします。

３　実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

# Ⅲ　事務事業点検・評価表

## ３．民　生　費

平成27年度からの子ども・子育て支援新制度施行に合わせ、すべての校区の幼児園を幼保連携型認定こども園に移行し、就学前教育・保育の充実を図りました。

⑵　児童福祉費

１次評価：　B

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 繰越明許費 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 1.児童福祉総務費 | 42,590,000円 | 39,568,477円 | 2,000,000円 | 1,021,523円 |

４月から施行された子ども・子育て支援新制度の進捗状況の確認のため、「福崎町子ども・子育て会議」を開催したほか、マイナンバー制度に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

| 事業名 | 子ども子育て支援事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 平成 26 年度に策定した「子ども・子育て支援事業計画」の進捗について、「福崎町子ども・子育て会議」において審議しました。また、マイナンバー制度に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。 |
| 成果 | 平成 27 年度は平成 26 年度に策定した「子ども・子育て支援事業計画」の進捗について、子ども・子育て会議で審議しました。<br>また、子育て支援システムの改修を行い、マイナンバー制度の施行に向けた準備を整えました。<br>なお、国の幼児教育無償化に伴うシステム改修のため、「子ども・子育て支援システム整備事業」として 2,000,000 円を平成 28 年度へ繰り越しました。<br>■福崎町子ども・子育て会議<br>○委員構成　15 名<br>・子どもの保護者　５名<br>・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者　５名<br>・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者　５名<br>○会議開催　１回（平成28年３月30日）<br>■子ども・子育て支援システム改修<br>○業務の内容<br>制度改正対応パッケージ設計及びオプションパッケージの導入<br>○改修業務委託業者　　(株)さくらケーシーエス<br>○業務委託料　　1,029,000 円<br>□効果・達成度<br>システムの改修を行うことで、マイナンバー制度の施行に向けた準備が整いました。<br>□課題・改善<br>計画の進捗については今後も子ども・子育て会議の場において点検、見直しを行い、計画の内容に沿った事業を展開していく必要があります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　(単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 4,547,000 | 2,263,774 | | | | 2,263,774 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 3.保育所費 | 10,113,000円 | 8,705,350円 | 1,407,650円 |

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童について、利用した私立保育所及び公立保育所の設置者に対して支出した費用です。

主な事業は、次のとおりです。

| 事業名 | 町外公立保育所委託事業、町外私立保育所委託事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 施設の利用を委託した町外の保育所へ、委託料を支払いました。 |

成果

■町外私立保育所　（単位：円）

| | 委託料 |
|---|---|
| 富田保育所 | 501,350 |
| 北条保育園 | 2,245,540 |
| 屋形保育所 | 2,175,430 |
| 米田西保育園 | 181,250 |
| 白鷺園保育所 | 903,760 |
| 飾東保育園 | 152,410 |
| 計 | 6,159,740 |

■町外公立保育所　（単位：円）

| | 委託料 |
|---|---|
| 川辺保育所 | 1,767,110 |
| 甘地保育所 | 330,380 |
| 前之庄保育所 | 322,740 |
| 広西保育所 | 125,380 |
| 計 | 2,545,610 |

□効果・達成度

私立保育所及び町外公立保育所委託料の支払を行い、各保育所の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立保育所等への適正な予算執行に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 10,113,000 | 8,705,350 | 3,225,000 | | 2,197,800 | 3,282,550 |

■保育所年間のべ利用児童数

（単位：人）

| 施設名 | | 定員 | 利用のべ児童数 | 利用状況 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ０歳児 | １・２歳児 | ３歳児 | ４歳以上児 |
| 姫路市 | 白鷺園保育所 | 90 | 10 | 0 | 5 | 5 | 0 |
| | 飾東保育園 | 150 | 4 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | 広西保育所 | 120 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 姫路保育園 | 120 | 12 | 0 | 12 | 0 | 0 |
| | 前之庄保育所 | 60 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 市川町 | 甘地保育所 | 90 | 24 | 0 | 0 | 0 | 24 |
| | 川辺保育所 | 60 | 35 | 0 | 10 | 0 | 25 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 屋形保育所 | 45 | 15 | 9 | 0 | 6 | 0 |
| 神河町 | 寺前保育所 | 50 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 加西市 | 富田保育所 | 120 | 12 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| | 北条保育園 | 130 | 24 | 0 | 24 | 0 | 0 |
| 高砂市 | 米田西保育園 | 150 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | | 150 | 10 | 53 | 13 | 74 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 4.認定こども園費 | 515,285,000円 | 484,477,289円 | 30,807,711円 |

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。

主な支出は、職員21名、嘱託・臨時職員24名に係る人件費、アルバイト保育教諭賃金、私立認定こども園及び町外公立認定こども園への施設型給付費、事務費等です。

主な事業は、次のとおりです。

| 事業名 | 認定こども園管理費 |
|---|---|
| 事業内容 | 入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。<br>教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会への参加や、職員の計画により研修会を実施しました。<br>また、施設・設備等の修繕や害虫駆除を行い、施設の維持管理に努めました。 |

成果

町内公立認定こども園研修会等において、経験豊かな講師による保育実践を中心とした指導研修を実施しました。

また、施設等の不具合部分の修繕を行いました。

■研修会実施内容

| | 実施日 | 内容 |
|---|---|---|
| 幼児園合同研修会 | 6月10日 | 公開保育事前研修（公開保育に向けての指導・助言） |
| | 7月21日 | 絵画研修（田原幼児園5歳児への公開絵画指導） |
| | 7月25日 | 積木研修（高岡幼児園4･5歳児への公開積木指導） |
| | 8月10日 | 絵画研修（福崎幼児園3歳児への公開絵画指導） |
| | 11月28日 | 公開保育研修（八千種幼児園での保育指導・助言） |

■嘱託医報酬

・内科医　828,880円

・歯科医　639,090円

・薬剤師　168,000円

■修繕関係

| 園名 | 金額（円） |
|---|---|
| 田原幼児園 | 1,427,760 |
| 八千種幼児園 | 264,322 |
| 福崎幼児園 | 969,138 |
| 高岡幼児園 | 174,960 |
| 計 | 2,836,180 |

成果

■委託料関係

| 区分 | 金額（円） |
|---|---|
| 植木剪定等委託料 | 219,820 |
| 電気設備管理委託料 | 774,800 |
| 警備委託料 | 588,384 |
| 消防設備点検委託料 | 17,280 |
| 特殊建物等定期報告委託料 | 163,080 |
| 計 | 1,763,364 |

□効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理をおこない、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

合同研修は、日頃の教育・保育を省みる機会となり教育・保育の質の向上につながりました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H27年度） |
|---|---|---|
| 入園児童数 | 700人 | 594人 |

□課題・改善

近年、低年齢児からの入園が増加していることから、保育教諭の確保が課題となっています。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園運営に努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 28,205,000 | 24,567,463 | 110,000 | | 7,787,768 | 16,669,695 |

| 事業名 | 認定こども園事業費 |
|---|---|

**事業内容**

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら年齢に応じた教育・保育を実施しました。

特別保育として、午後７時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない在宅児童の一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施しました。

また、兵庫県が実施する「ひょうご多子世帯保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の第３子以降の保育料を助成しました。

**成果**

保護者の多様なニーズに対応するため、延長保育事業や一時預かり事業を実施しました。

多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、保育料軽減事業補助金を交付しました。

■延長保育事業利用状況（年間のべ利用者数）　（単位：人）

| 田原 | 八千種 | 福崎 | 高岡 | 姫学 | サルビア | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 313 | 165 | 225 | 19 | 787 | 230 | 1,739 |

■一時預かり事業（一般型）利用状況（年間のべ利用者数）（単位：人）

| 田原 | 姫学 | サルビア | 計 |
|---|---|---|---|
| 111 | 167 | 445 | 723 |

■一時預かり事業（幼稚園型）利用状況（年間のべ利用者数）　（単位：人）

| 田原 | 八千種 | 福崎 | 高岡 | 姫学 | サルビア | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 770 | 770 | 816 | 78 | 123 | 1,128 | 3,685 |

■保育材料代

| 園名 | 金額（円） |
|---|---|
| 田原幼児園 | 1,711,860 |
| 八千種幼児園 | 745,270 |
| 福崎幼児園 | 963,835 |
| 高岡幼児園 | 338,684 |
| 計 | 3,759,649 |

■給食費等賄費

| 園名 | 金額（円） |
|---|---|
| 田原幼児園 | 9,280,898 |
| 八千種幼児園 | 3,387,496 |

| | |
|---|---|
| 福　崎　幼　児　園 | 6,496,763 |
| 高　岡　幼　児　園 | 1,958,824 |
| 計 | 21,123,981 |

■工事関係

・八千種幼児園渡り廊下改修工事

請負金額：658,800 円

請 負 者：牛尾建設(株)

■備品購入状況

| 園　　名 | 金　額（円） |
|---|---|
| 田　原　幼　児　園 | 796,002 |
| 八　千　種　幼　児　園 | 214,164 |
| 福　崎　幼　児　園 | 490,320 |
| 高　岡　幼　児　園 | 102,254 |
| 計 | 1,602,740 |

■ひょうご多子世帯保育料軽減事業

対象児童数　　40人

保育料軽減事業補助金　1,465,500円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

多子世帯における経済的負担の軽減を図ることにより、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進することができました。

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、利用者が利用しやすい環境づくりを進める必要があります。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一 般 財 源 |
| 64,400,000 | 55,154,125 | 6,090,500 | | 18,752,102 | 30,311,523 |

■認定こども園年間のべ利用児童数

（単位：人）

| 施設名 | | 定員 | 利用延べ児童数 | 利用状況 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ０歳児 | １・２歳児 | ３歳児 | ４歳以上児 |
| 田　原　幼　児　園 | | 240 | 2,376　(41) | 84　(0) | 407　(24) | 611　(2) | 1,274　(15) |
| 八　千　種　幼　児　園 | | 85 | 910　(53) | 19　(0) | 207　(22) | 168　(0) | 516　(31) |
| 福　崎　幼　児　園 | | 180 | 1,759　(17) | 38　(0) | 280　(5) | 373　(0) | 1,068　(12) |
| 高　岡　幼　児　園 | | 45 | 417　(12) | 6　(0) | 73　(0) | 79　(0) | 259　(12) |
| 姫　学　こ　ど　も　園 | | 75 | 782　(76) | 35　(1) | 226　(41) | 148　(12) | 373　(22) |
| サ ル ビ ア こ ど も 園 | | 105 | 1,080　(98) | 67　(14) | 245　(37) | 245　(12) | 523　(35) |
| 小　　計 | | 730 | 7,324　(297) | 249　(15) | 1,438　(129) | 1,624　(26) | 4,013　(127) |
| 姫路市 | 萩　学　園 | 310 | 202 | 12 | 71 | 20 | 99 |
| | 姫路日ノ本短期大学付属幼稚園 | 190 | 276 | 0 | 76 | 78 | 122 |
| | すごう保育園 | 85 | 24 | 0 | 12 | 0 | 12 |
| | 保城さくらんぼ | 155 | 10 | 0 | 5 | 0 | 5 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | こ ど も 園 | | | | | | |
| | あゆみ保育園 | 135 | 12 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| | 山田こども園 | 70 | 12 | 0 | 0 | 12 | 0 |
| 加西市 | 愛の光こども園 | 86 | 9 | 9 | 0 | 0 | 0 |
| 多可町 | あさかこども園 | 105 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| 小 計 | | | 550 | 26 | 164 | 110 | 250 |
| 合 計 | | | 7,874 (297) | 275 (15) | 1,602 (129) | 1,734 (26) | 4,263 (127) |

※（ ）内は他市町からの受託児で外数

| 事業名 | 園児送迎バス運行事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。 |
| 成果 | 主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る賃金、マイクロバスの維持管理に要した費用です。<br>■マイクロバス利用者数 （単位：人）<br>田 原 幼 児 園 3<br>八 千 種 幼 児 園 7<br>福 崎 幼 児 園 2<br>計 12<br>□効果・達成度<br>利用児童数は平成 26 年度に比べ減少しましたが、ニーズのある家庭に対し、児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。<br>□課題・改善<br>保護者の就労状況の多様化に伴い、朝夕各１便ずつで運行していくことには限りがみられますが、１台で町内６園すべての希望に応えていくことが難しいのも現状です。<br>今後も児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 （単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,702,000 | 3,600,389 | | | 294,000 | 3,306,389 |

| 事業名 | 私立認定こども園運営事業、町外公立認定こども園委託事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 私立認定こども園及び町外公立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。<br>また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実を図りました。 |
| 成 | ■町内私立認定こども園給付費 （単位：円）<br>■町内私立認定こども園補助金 （単位：円） |

果

| | 給付費 |
|---|---|
| 姫学こども園 | 55,082,920 |
| サルビアこども園 | 73,714,322 |
| 計 | 128,797,242 |

| | 姫学こども園 | サルビアこども園 |
|---|---|---|
| 調理員補助 | 3,596,092 | 4,182,189 |
| パン代補助 | 146,758 | 193,333 |
| 特別保育等補助金 | 3,743,200 | 3,508,480 |
| 特別保育料 | 510,000 | 1,554,400 |
| 計 | 7,996,050 | 9,438,402 |

■町外私立認定こども園給付費　（単位：円）

| | 給付費 |
|---|---|
| 萩学園 | 8,575,974 |
| 姫路日ノ本短期大学付属幼稚園 | 10,431,520 |
| あゆみ保育園 | 135,720 |
| 愛の光こども園 | 1,745,960 |
| あさかこども園 | 766,306 |
| 計 | 21,655,480 |

■町外公立認定こども園給付費（単位：円）

| | 給付費 |
|---|---|
| 山田こども園 | 774,990 |
| 計 | 774,990 |

□効果・達成度

私立認定こども園及び町外公立認定こども園に対して施設型給付費の支払を行い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 186,300,000 | 168,662,164 | 117,583,226 | | 2,064,400 | 49,014,538 |

| 事業名 | 高岡保育所跡地整備事業 |
|---|---|

事業内容

平成26年度に廃止した高岡保育所の跡地を駐車場として整備しました。

成果

■主な事業費

・高岡保育所解体及び跡地整備工事（うち跡地整備分）

請負金額：7,234,960円

請 負 者：安井建設

□効果・達成度

高岡小学校・高岡幼児園等、高岡地区の中心的な施設が集まる場所に、舗装された駐車場を整備することができました。

□課題・改善

施設の管理を適切に行うことにより、良好な状態の維持に努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 7,343,000 | 7,339,912 | | | | 7,339,912 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 5.子育て支援施設費 | 23,779,000円 | 22,532,523円 | 1,246,477円 |

核家族化や少子化の進展、地域のつながりの希薄化等により、家族や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 子育て支援センター運営事業（福崎幼児園内） |
|---|---|
| 事業内容 | 福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報、ホームページ等による情報提供を実施しました。<br>また“おひさまらんど”は、子育て親子が集える場として開放すると共に、地域支援活動として地域の公民館に出かけて“すきっぷひろば”を開設し、保護者と子どもの交流促進を図りました。 |
| 成果 | ■子育て支援センター事業年間のべ利用者数 |

| おひさまらんど利用者数 | すきっぷひろば参加者数 | その他の事業参加者数 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 3,103人 | 657人 | 932人 | 4,692人 |

■子育て相談件数　114件

成果

■地域支援活動（すきっぷひろば）実施状況

| | 実施月 | 開　催　公　民　館　等 |
|---|---|---|
| 前　　期 | ５月 | 山崎・中島・高岡幼児園・大門 |
| | ６月 | 福田・西治・辻川・八千種幼児園・田尻・新町・西野 |
| | ７月 | 西光寺・吉田・南大貫 |
| 後　　期 | 10月 | 福田・山崎・西治・長目 |
| | 11月 | 西光寺・辻川・西野・田尻・八反田・高岡幼児園 |
| | 12月 | 加治谷・南大貫・新町 |

■その他の事業

| 実施月 | 事　業　内　容 |
|---|---|
| ４月 | 公園で遊ぼう（３回） |
| ５月 | おしゃべり会、たかおか・やちくさひろば |
| ６月 | きらきら子育て講演会、<br>たかおか・やちくさひろば |
| ７月 | ミニコンサート、たかおか・やちくさひろば |
| ８月 | 七夕会、楽器であそぼう！、おしゃべり会<br>福崎幼児園夏祭り、たかおか・やちくさひろば |
| ９月 | おもちゃ作り（２回）、たかおか・やちくさひろば<br>小児科の先生とおしゃべり会 |
| 10月 | 公園で遊ぼう（３回）、たかおか・やちくさひろば、<br>福崎幼児園運動会に参加、幼児園ってどんなところ？ |
| 11月 | たかおか・やちくさひろば、親子でわらべうた遊び |
| 12月 | クリスマス会（３回）、たかおか・やちくさひろば |
| １月 | 伝承遊び（老人クラブ）、給食センター見学と試食会、<br>たかおか・やちくさひろば |
| ２月 | 福崎幼児園豆まきに参加、おしゃべり会<br>おもちゃ作り（２回）、たかおか・やちくさひろば |
| ３月 | 子育て講演会 |

□効果・達成度

新しい事業を実施することにより、子育て中の親子の交流が広がりました。また来所者数が大幅に増え、居心地の良い空間を提供できました。“すきっぷひろば”でミニデイに同席することで、地域の高齢者との世代間交流と共に、子育て世代と地域とのつながりができました。

□課題・改善

今後も、子育て支援施設の拠点としての機能を果たすため、子育て支援情報の提供と地域での支援活動を中心に事業を進めていきます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | その他 | 一般財源 |
| 3,503,000 | 2,907,027 | 1,289,266 | | | 1,617,761 |

| 事業名 | 西部子育て学習センター運営事業（文化センター内） |
|---|---|
| 事業内容 | 西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て親子の集いの場として提供しました。<br>「子育て学習講座」では、乳幼児期の子育てについての学習・実習等を開催しました。また、各子育てグループ自らが企画・立案し実施する活動をサポートし、ともに考え、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。その他、“あそびのひろば”として絵本の読み聞かせやリズム遊びなど、様々な交流の場を提供しました。 |

成果

■西部子育て学習センター事業年間のべ利用者数

| ともだちひろば利用者数 | 子育てグループ活動参加者数 | 子育て学習講座参加者数 | その他の事業参加者数 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 4,718人 | 2,235人 | 666人 | 996人 | 8,615人 |

■子育て相談件数

| 個別相談 | その他 | 合計 |
|---|---|---|
| 17件 | 51件 | 68件 |

■子育てグループ

・５グループ94組202人の親子が参加
・グループごとに年間15回活動を実施
・全体行事として、ふれあい運動会、クリスマス会、おわかれ遠足等を実施
・養護老人ホームで高齢者との交流会を実施

■子育て学習講座

| 実施月 | テーマ |
|---|---|
| ５月 | 子どものベストショットを撮る方法<br>～野外で子どもをモデルにスナップ写真を撮ってみよう～ |
| ７月 | 自分のこころとからだをみつめよう |
| ８月 | 人形劇 |
| 10月 | 「いざ！というときの救急法（乳幼児編）と車両見学 |
| 11月 | わくわく親子体操 |
| ２月 | 絵本の読み聞かせに生演奏 |

■あそびのひろば

| 事業名 | 内容 | 実施日 |
|---|---|---|
| ドレミ | リズムあそび・うたあそびなど | 第２木曜日　年10回 |
| ぐりとぐら | 絵本の読み聞かせ、わらべうたなど | 第１木曜日　年９回 |
| おしゃべりティータイム | テーブルを囲んで子育てについておしゃべり | ４・８・10・１月 |

■婚活サポート事業

・委託料：972,000円
・委託業者：ベスパ

| 実施日 | 参加人数 | 成立組数 |
|---|---|---|
| ５月30日 | 36人 | ５組 |
| ９月６日 | 36人 | ２組 |
| ２月14日 | 34人 | ９組 |

□効果・達成度

１年を通して90組以上の子育て中の親子が参加され、子育てグループの活動が活発に行われることにより、子育て中の親子の出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。また、婚活パーティ（福咲婚）を３回実施し、計16組が成立しました。

□課題・改善

今後も子育て中の親子の身近な施設として事業を実施し、「学びの場」・「安らぎの場」・「子育て中の母の心のよりどころ」となるよう努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,914,000 | 2,508,548 | 1,982,868 | | | 525,680 |

| 事業名 | 東部子育て学習センター運営事業（田原幼児園内） |
|---|---|

**事業内容**

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て親子の集いの場として提供しました。

子育てを楽しむための「にこにこ講座」の開催、また、母と子が参加する事業だけでなく祖父母とのふれあい事業、家族で参加する事業なども実施したほか、地域の高齢者やお父さんと参加する事業など、日頃ふれあいが少ない方々との交流事業を中心に実施しました。

**成果**

■東部子育て学習センター事業年間のべ利用者数

| にこにこひろば利用者数 | にこにこ講座参加者数 | その他の事業参加者数 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 3,215人 | 158人 | 392人 | 3,765人 |

■子育て相談件数　45件

■にこにこ講座

| 実施月 | テーマ |
|---|---|
| ５月 | わらべうたで遊ぼう |
| ７月 | 食育について |
| 11月 | 子育て講演会 |
| ２月 | 親子リズム遊び |

■その他の事業

| 実施月 | テーマ |
|---|---|
| ４月 | 親子で楽しむミュージカル |
| ６月 | おとうさんと遊ぼう！ |
| ８月 | おとうさんと作ろう（川遊び） |
| ９月 | おじいちゃんおばあちゃんとあそぼう！ |
| 10月 | いもほり、田原幼児園見学 |
| 12月 | クリスマス会 |
| １月 | 身体をいっぱい使って遊ぼう！ |
| ２月 | まめまき |
| ３月 | みんなでおさんぽ |

□効果・達成度

各月の実施事業に多くの子育て親子の参加がありました。利用者数も安定しており、子育て中の親子の出会い・ふれあいの場としてたくさんの方に利用していただきました。なお、平成27年度の子育て支援施設利用者数は、17,072人でした。

□課題・改善

今後も「学びの場」、「安らぎの場」、「子育て中の母の心のよりどころ」として、子育て中の親子にとって身近な施設となるよう事業を実施し、「子どもの育ち」を支援していきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,824,000 | 1,738,693 | 393,990 | | | 1,344,703 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 6.学童保育費 | 15,186,000円 | 15,036,491円 | 149,509円 |

共働き家庭や母子・父子家庭など、学校から帰宅してもだれもいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、学校や地域の協力のもと、福崎小学校の余裕教室を利用した「福崎西部学童保育園」と田原小学校体育館北の「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。

放課後子ども教室では、地域の大人や異年齢の子どもとの交流、また昔あそびを行うなど、子どもの居場所づくりに努めました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 福崎西部学童保育園運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の余裕教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。<br>土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。 |
| 成果 | 福崎西部学童保育園の運営（月曜日から金曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。<br>■　学童保育園利用状況（実利用人数）　※（　）内は内数（単位：人） |

| | 福崎小学校 | 高岡小学校 | 計 |
|---|---|---|---|
| ４月 | 60 | 1 | 61 |
| ５月 | 46 | 1 | 47 |
| ６月 | 45 | 1 | 46 |
| ７月<br>(夏休み) | 72<br>(8) | 2<br>(1) | 74<br>(9) |
| ８月<br>(夏休み) | 64<br>(6) | 2<br>(1) | 66<br>(7) |
| ９月 | 45 | 1 | 46 |
| 10月 | 40 | 1 | 41 |
| 11月 | 40 | 1 | 41 |
| 12月 | 43 | 1 | 44 |
| １月 | 42 | 1 | 43 |
| ２月 | 43 | 1 | 44 |
| ３月<br>(春休み) | 51<br>(2) | 2<br>(1) | 53<br>(3) |
| 計<br>(長期休業) | 591<br>(16) | 15<br>(3) | 606<br>(19) |

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善
開設時間の拡大を求める声があり、今後、検討が必要です。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 7,258,000 | 7,169,444 | 3,794,603 | | 2,274,000 | 1,100,841 |

| 事業名 | 田原放課後子ども教室事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 田原小学校の１年生及び２年生を対象に、田原小学校の教室において５月～３月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をしながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。 |

成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）　（単位：人）

| | １年生 | ２年生 | 計 |
|---|---|---|---|
| ４月 | － | － | － |
| ５月 | 29 | 27 | 56 |
| ６月 | 28 | 28 | 56 |
| ７月 | 26 | 27 | 53 |
| ８月 | － | － | － |
| ９月 | 23 | 23 | 46 |
| 10月 | 27 | 27 | 54 |
| 11月 | 27 | 27 | 54 |
| 12月 | 24 | 27 | 51 |
| １月 | 23 | 27 | 50 |
| ２月 | 25 | 27 | 52 |
| ３月 | 22 | 22 | 44 |
| 計 | 254 | 262 | 516 |

□効果・達成度
他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善
約１時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していくことが必要です。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 182,000 | 171,094 | 93,000 | | | 78,094 |

| 事業名 | 八千種放課後子ども教室事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 八千種小学校の１年生を対象に、八千種県民交流広場において５月～３月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をしながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。 |

成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）　（単位：人）

| | １年生 |
|---|---|
| ４月 | － |
| ５月 | 14 |
| ６月 | 14 |
| ７月 | 14 |
| ８月 | － |
| ９月 | 14 |
| 10月 | 14 |
| 11月 | 14 |
| 12月 | 14 |
| １月 | 15 |
| ２月 | 15 |
| ３月 | 14 |
| 計 | 142 |

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約１時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していくことが必要です。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 129,000 | 105,616 | 64,000 | | | 41,616 |

| 事業名 | 福崎東部学童保育園運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校北の福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。<br>また、土曜日はセンター方式により町内４小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。 |

成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。

■学童保育園利用状況（実利用人数）　　※（　）内は内数（単位：人）

| | 田原小学校 | 八千種小学校 | 計 |
|---|---|---|---|
| ４月 | 87 | 3 | 90 |
| ５月 | 69 | 3 | 72 |
| ６月 | 68 | 3 | 71 |
| ７月<br>（夏休み） | 93<br>(10) | 3<br>(0) | 96<br>(10) |
| ８月<br>（夏休み） | 85<br>(13) | 5<br>(2) | 90<br>(15) |
| ９月 | 59 | 3 | 62 |
| 10月 | 57 | 3 | 60 |
| 11月 | 57 | 3 | 60 |
| 12月 | 61 | 3 | 64 |
| １月 | 56 | 3 | 59 |
| ２月 | 48 | 3 | 51 |
| ３月 | 54 | 3 | 57 |
| 計<br>（長期休業） | 794<br>(23) | 38<br>(2) | 832<br>(25) |

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

開設時間拡大を求める声があり、今後、検討が必要です。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 7,617,000 | 7,590,337 | 2,774,389 | | 3,027,000 | 1,788,948 |

| 1次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 7.幼児園建設費 | 7,000,000円 | 6,988,920円 | 11,080円 |

平成26年度に竣工した高岡幼児園の外構整備を行いました。

事業内容は次のとおりです。

| 事業名 | 高岡幼児園建設事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 平成26年度に建設した高岡幼児園の外構整備を行いました。 |
| 成果 | ■主な事業費<br>○工事請負費　6,988,920円<br>・外構工事　6,988,920円　(株)セイトー<br>□効果・達成度<br>平成26年度に建物が完成した高岡幼児園の園庭・フェンス・遊具等の整備が完了しました。<br>□課題・改善<br>児童が安心して園生活が送れるよう施設の維持・管理を行う必要があります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　(単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 7,000,000 | 6,988,920 | | | | 6,988,920 |

## ９．教　育　費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「大地に根を張り、幹を太らせ、大きく伸び行く福崎の教育」を基調に、町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルールの大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養（かんよう）等、「心の教育」の充実に努めました。「ひびき合う、あいさつ交わし、ささえ合い」のキャッチコピーや「明るいあいさつ、元気な福崎」「あいさつ、ルール、支え合い」「早寝、早起き、朝ごはん」等のスローガンの活用で生活習慣の向上に努めました。

施設面では、耐力度調査で問題があった田原小学校体育館を改築し、その他の小中学校体育館は吊り天井などの非構造部材耐震化工事を実施しました。

１次評価：　Ａ

⑴　教育総務費

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 1.教育総務費 | 1.教育委員会費 | 1,328,000円 | 1,092,445円 | 235,555円 |

地方教育行政全般の運営推進に要した経費です。教育委員会の会議は、定例会12回を開催し、教育上の諸問題について審議しました。また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、首長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進していくため、地方公共団体の長は、総合教育会議を設けるものと規定され、平成27年度は教育大綱の制定及び町長と教育委員会との意見交換を行いました。地方教育行政の主な支出は、委員４人にかかる報酬、教育長交際費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 教育委員会事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 教育委員会において、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応し、きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、体制の確立に努めました。 |
| 成果 | 毎月教育委員会を開催し、教育情勢をより早く察知し検討しました。<br>研修に積極的に参加し、情報収集に努め、教育委員としてより高度な人格形成を目指しました。<br>□効果・達成度<br>適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。 |
| 成果 | □課題・改善<br>さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めていきます。 |

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 1,328,000 | 1,092,445 | | | | 1,092,445 |

| １次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 1.教育総務費 | 2.事務局費 | 69,981,000円 | 69,420,894円 | 560,106円 |

教育長、職員３人・嘱託２人に係る人件費、英語指導助手の賃金、旅費及びこころを開きあう親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 事務局一般事務費 |
|---|---|
| 事業内容 | 教育行政の円滑な運営を図りました。 |
| 成果 | 不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期対応しました。<br>就学指導委員会を開催し、特別支援学級の入級判定及び支援を要する児童生徒の実態把握に努めました。<br>□効果・達成度<br>不登校児童生徒に対するきめ細かな対応ができました。特別支援学級への適正な入級判定ができました。<br>□課題・改善<br>教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 (単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 9,648,000 | 9,562,361 | | | | 9,562,361 |

| 事業名 | 学校保健安全事業【事業名称変更】 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。 |
| 成果 | 健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。 |

成果

■教職員検診費

（単位：円）

| 検診名＼学校名 | 福崎小 | | 高岡小 | | 田原小 | | 八千種小 | | 西中 | | 東中 | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 円 |
| 胃部レントゲン | 3 | 11,034 | 3 | 11,034 | 8 | 29,424 | 5 | 18,390 | 11 | 40,458 | 5 | 18,390 | 128,730 |
| 心電図 | 13 | 16,848 | 9 | 11,664 | 17 | 22,032 | 12 | 15,552 | 18 | 23,328 | 14 | 18,144 | 107,568 |
| 血液 | 12 | 29,124 | 9 | 21,843 | 17 | 41,259 | 11 | 26,697 | 18 | 43,686 | 14 | 33,978 | 196,587 |
| ＨｂＡ１ｃ | 12 | 5,184 | 9 | 3,888 | 17 | 7,344 | 11 | 4,752 | 18 | 7,776 | 14 | 6,048 | 34,992 |
| 胸部撮影 | 12 | 6,480 | 7 | 3,780 | 17 | 9,180 | 10 | 5,400 | 18 | 9,720 | 14 | 7,560 | 42,120 |
| 眼底 | 17 | 20,196 | 9 | 10,692 | 18 | 21,384 | 14 | 16,632 | 19 | 22,572 | 14 | 16,632 | 108,108 |
| 尿検査 | 13 | 1,404 | 9 | 972 | 17 | 1,836 | 12 | 1,296 | 18 | 1,944 | 14 | 1,512 | 8,964 |
| 別途実施尿検査 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 診察 | 13 | 8,424 | 9 | 5,832 | 17 | 11,016 | 12 | 7,776 | 18 | 11,664 | 14 | 9,072 | 53,784 |
| 聴力 | 13 | 1,404 | 9 | 972 | 17 | 1,836 | 12 | 1,296 | 18 | 1,944 | 14 | 1,512 | 8,964 |
| 大腸がん | 11 | 11,286 | 8 | 8,208 | 16 | 16,416 | 7 | 7,182 | 16 | 16,416 | 11 | 11,286 | 70,794 |
| ＰＳＡ | 1 | 1,728 | 1 | 1,728 | 2 | 3,456 | 1 | 1,728 | 4 | 6,912 | 5 | 8,640 | 24,192 |
| 腹囲 | 5 | 1,350 | 4 | 1,080 | 8 | 2,160 | 7 | 1,890 | 12 | 3,240 | 9 | 2,430 | 12,150 |
| 協会健保一般健診 | 4 | 14,852 | 0 | 0 | 1 | 4,219 | 2 | 6,662 | 1 | 3,495 | 0 | 0 | 29,228 |
| 追加血液検査 | 4 | 3,024 | 0 | 0 | 1 | 756 | 2 | 1,512 | 1 | 756 | 0 | 0 | 6,048 |
| 市川町受診分 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 132,338 | | 81,693 | | 172,318 | | 116,765 | | 193,911 | | 135,204 | | 832,229 |

■児童・生徒検診費

| ＼ | 福崎小 | | 高岡小 | | 田原小 | | 八千種小 | | 西中 | | 東中 | | 小計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 円 |
| 心臓検査 | 78 | 131,820 | 8 | 13,520 | 82 | 138,580 | 19 | 32,110 | 73 | 123,370 | 104 | 175,760 | 615,160 |
| 尿検査 | 417 | 40,532 | 69 | 6,707 | 482 | 46,850 | 159 | 15,455 | 236 | 22,939 | 331 | 32,173 | 164,656 |
| 寄生虫検査 | 211 | 13,672 | 33 | 2,138 | 242 | 15,682 | 62 | 4,018 | | | | | 35,510 |
| 胸部レントゲン | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 |
| 計 | 186,024 | | 22,365 | | 201,112 | | 51,583 | | 146,309 | | 207,933 | | 815,326 |

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,861,000 | 1,859,660 | | | | 1,859,660 |

| 事業名 | 学校関係事業 |
|---|---|

**事業内容**

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金及び生活困窮者等の就学奨励扶助に係る事業です。

**成果**

■各種大会等参加費　（単位：円）

| 学校名 | 大会名 | 派遣費用 | 各学校費用合計 |
|---|---|---|---|
| 福崎小 | 第63回兵庫リレーカーニバル | 5,000 | |
| | 第31回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選 | 4,180 | |
| | 第39回兵庫県小学生陸上競技大会 | 6,230 | 15,410 |
| 高岡小 | 第63回兵庫リレーカーニバル | 4,130 | 4,130 |
| 田原小 | 第63回兵庫リレーカーニバル | 27,210 | |
| | 第31回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選 | 17,770 | |
| | 第39回兵庫県小学生陸上競技大会 | 19,670 | 64,650 |
| 八千種小 | 第63回兵庫リレーカーニバル | 8,080 | |
| | 第31回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選 | 7,680 | |
| | 第39回兵庫県小学生陸上競技大会 | 11,162 | 26,922 |
| 福崎西中 | 第63回兵庫リレーカーニバル | 19,600 | |
| | 神崎郡中学校総合体育大会他 | 102,900 | |
| | 中播地区中学校総合体育大会 | 193,520 | |
| | 兵庫県中学校総合体育大会 | 11,840 | |
| | ＮＨＫ学校音楽コンクール | 74,280 | |
| | 兵庫県合唱コンクール | 99,500 | |
| | 数学・理科甲子園ジュニア２０１５ | 11,280 | |
| | 神崎郡中学校親善大会 | 36,240 | |
| | 中播地区中学校新人大会 | 190,390 | |
| | 神崎郡中学校連合音楽会 | 32,400 | |
| | 中播地区総合体育大会駅伝競走大会 | 37,800 | |
| | 兵庫県総合体育大会駅伝競走の部 | 65,700 | |
| | 兵庫県中学校陸上競技記録会 | 93,450 | 968,900 |
| 福崎東中 | 姫路市中学校陸上競技記録会 | 38,540 | |
| | 全日本中学校通信陸上競技兵庫県大会 | 8,300 | |
| | 神崎郡総合体育大会 | 241,920 | |
| | 中播地区中学生総合体育大会 | 493,480 | |
| | 兵庫県中学校総合体育大会 | 71,060 | |
| | ＪＣＡ兵庫県合唱コンクール | 80,560 | |
| | 兵庫県中学学年別水泳競技大会 | 3,140 | |
| | 神崎郡親善大会 | 97,200 | |
| | 中播地区新人野球大会 | 37,800 | |
| | 兵庫県中学校陸上競技新人大会選手権大会 | 32,160 | |
| | 神崎郡中学校連合音楽会 | 32,400 | |
| | 中播地区中学校新人大会陸上競技大会県秋季記録会 | 24,440 | |
| | 中播地区中学校ソフトテニス新人大会 | 9,920 | |
| | 中播地区中学校新人大会 | 56,900 | |
| | 第48回近畿中学生バレーボール選抜優勝大会 | 60,470 | 1,288,290 |
| 計 | | | 2,368,302 |

| | |
|---|---|
| 成果 | □効果・達成度<br>　児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。顕著な活躍として、福崎東中男子バレーボール部が第48回近畿中学生バレーボール選抜優勝大会に出場しました。<br>□課題・改善<br>　体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援していきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,209,000 | 3,208,112 | | | | 3,208,112 |

| 事業名 | 国際教育推進事業 |
|---|---|
| 事業内容 | ＡＬＴ２人体制のもと、国際理解教育を展開しました。英語指導助手の賃金、旅費等に係る事業です。 |
| 成果 | ＡＬＴを２人配置し、小中学校の英語教育・国際教育をより充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。<br>□効果・達成度<br>　生きた英語にふれることで児童及び生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。<br>□課題・改善<br>　ＡＬＴの指導能力をさらに高め、より一層の国際教育の充実に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 10,117,000 | 9,879,482 | | | | 9,879,482 |

⑵　小学校費

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.小　学　校　費 | 1.学校管理費 | 134,632,000円 | 133,714,036円 | 917,964円 |

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託３人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。また、学校トイレの一部洋式化工事の施工、体育館非構造部材の耐震化工事や田原小学校体育館の建設工事等を行い、学校施設の環境改善に取り組みました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 小学校管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校教育法に定める目的及び目標達成のための教育を推進しました。 |

成果

目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

■学校別児童・教員数調べ　　H27．5．1現在（単位:人）

| 学校＼学年 | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | ５年 | ６年 | 計 | 教員 | 事務職・栄養教諭等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福　崎　小 | 78 | 78 | 55 | 57 | 78 | 72 | 418 | 25 | 3 |
| 高　岡　小 | 8 | 12 | 13 | 10 | 11 | 15 | 69 | 11 | 3 |
| 田　原　小 | 82 | 79 | 81 | 80 | 89 | 78 | 489 | 28 | 3 |
| 八千種小 | 19 | 14 | 29 | 33 | 27 | 37 | 159 | 13 | 2 |
| 計 | 187 | 183 | 178 | 180 | 205 | 202 | 1,135 | 77 | 11 |
| ２６年度 | 184 | 176 | 179 | 204 | 199 | 177 | 1,119 | 78 | 11 |

■校医等の報酬

内科医（４人）　2,128,720円　　定期健康診断、就学前健康診断、マラソン前健康診断他

歯科医（４人）　1,435,460円

眼科医（１人）　711,850円

耳鼻科医（２人）　712,750円

薬剤師（３人）　340,900円　　教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査

■施設修繕料　　（単位：円）

| 福　崎　小 | 高　岡　小 | 田　原　小 | 八千種小 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 986,756 | 485,244 | 343,270 | 206,668 | 2,021,938 |

■委託料関係　　（単位：円）

| 区分＼校名 | 福　崎　小 | 高　岡　小 | 田　原　小 | 八千種小 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| スクールカウンセラー活動委託料 | 150,000 | 0 | 0 | 0 | 150,000 |
| 植木剪定委託料 | 5,553 | 5,554 | 36,369 | 0 | 47,476 |
| リソグラフ保守管理委託料 | 70,200 | 0 | 44,580 | 0 | 114,780 |
| ガス設備点検委託料 | 0 | 0 | 104,004 | 0 | 104,004 |
| 清掃委託料 | 120,000 | 120,000 | 0 | 0 | 240,000 |
| 警備委託料 | 257,418 | 257,418 | 266,116 | 257,418 | 1,038,370 |
| 電気設備管理委託料 | 129,600 | 98,400 | 129,600 | 172,800 | 530,400 |
| 貯水槽管理委託料 | 67,770 | 67,770 | 67,770 | 67,770 | 271,080 |
| 給食用昇降機点検委託料 | 52,250 | 35,640 | 35,640 | 35,640 | 159,170 |
| 消防設備点検委託料 | 23,976 | 23,976 | 23,976 | 23,976 | 95,904 |
| プール循環装置点検委託料 | 21,978 | 21,978 | 21,978 | 21,978 | 87,912 |
| エレベーター点検委託料 | 570,240 | 0 | 0 | 0 | 570,240 |
| 教育用コンピュータ保守管理委託料 | 522,720 | 522,720 | 522,720 | 522,720 | 2,090,880 |
| 英語活動推進事業委託料 | 175,680 | 81,130 | 272,060 | 81,130 | 610,000 |
| 小学校体験活動事業委託料 | 1,129,000 | 595,000 | 1,472,000 | 538,000 | 3,734,000 |
| 計 | 3,296,385 | 1,829,586 | 2,996,813 | 1,721,432 | 9,844,216 |

成果

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、様々な体験活動をとおして、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業（県補助金）です。平成27年度も兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。町内全小学校５年生205人が２班に分かれ、４泊５日（10/26～10/30）の日程で行い、自然観察、登山、昼食作り、コース別体験等、充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■賃借料

福崎小学校敷地借上料（638.28 坪）　1,320,610 円
小学校コンピュータ等借上料　852,060 円
バス借上料　48,600 円

■備品購入関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により図書購入・理科教材備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。また、教科書採択替えにより、教師用指導書等を購入しました。

（単位：円）

| 区分＼校名 | 福崎小 | 高岡小 | 田原小 | 八千種小 | 事務局 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般備品 | 498,408 | 219,018 | 679,384 | 297,712 | 1,697,824 | 3,392,346 |
| 教材備品 | 749,456 | 469,381 | 852,135 | 326,567 | 8,061,490 | 10,459,029 |
| 図書購入費 | 199,619 | 0 | 206,107 | 340,136 | 11,232 | 757,094 |
| 計 | 1,447,483 | 688,399 | 1,737,626 | 964,415 | 9,770,546 | 14,608,469 |

■負担金関係

学童農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り）　１人 150 円
〃　（田植え）１人 150 円（稲刈り）　１人 300 円
〃　（もち麦種まき・もち麦刈取り）　１人 250 円

| 学校名 | いも植え（人） | いも掘り（人） | 田植え（人） | 稲刈り（人） | もち麦種まき（人） | もち麦刈取り（人） | 入園料（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福崎小 | 133 | 141 | 76 | 81 | | | 76,800 |
| 高岡小 | 43 | 43 | 26 | 26 | | | 24,600 |
| 田原小 | 79 | 78 | 86 | 89 | 78 | 81 | 102,900 |
| 八千種小 | 94 | 95 | 62 | 64 | | | 56,850 |
| 計 | 349 | 357 | 250 | 260 | 78 | 81 | 261,150 |

□効果・達成度

各学校において、それぞれ必要な備品等を購入し、教育環境をさらに充実させることができました。平成 27 年度も外国語活動事業を委託しました。自然学校では、５年生が自然の中での長期宿泊体験を通して、豊かな感性や社会性を育む活動を行いました。

□課題・改善

理科備品の充足率が不十分で、これからも継続して備品購入・整備に努める必要があります。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 75,139,000 | 74,287,400 | 1,999,000 | | 500,000 | 71,788,400 |

| 事業名 | 小学校施設補修事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校施設の補修等に要した経費です。 |

成果

老朽化等による不良箇所の修繕及び特別支援教室の整備等を行いました。

■修繕関係

（単位：円）

| 学校名 | 内　　容 | 金額 | 各小学校合計 |
|---|---|---|---|
| 福崎小 | 教室掲示板貼付工事 | 388,800 | |
| | 教室床塗装工事（２教室） | 433,728 | |
| | 駐車場ライン引き工事 | 453,600 | |
| | 教室カーテン取替工事 | 352,944 | |
| | 運動場周囲芝張り工事 | 299,700 | |
| | 自動火災報知設備他消防設備修繕工事 | 239,689 | |
| | 幹線結線接続他消防設備修繕工事 | 432,000 | |
| | 緊急通報装置設置工事 | 37,800 | |
| | エレベータドア開閉用コンデンサー等取替工事 | 65,000 | |
| | 南校舎１階男子トイレ小便器取替工事 | 60,529 | 2,763,790 |
| 高岡小 | 消防設備修繕工事 | 430,488 | |
| | 緊急通報装置設置工事 | 37,800 | |
| | プールろ過材取替工事 | 729,000 | |
| | トイレ洋式化工事（３カ所） | 779,706 | 1,976,994 |
| 田原小 | 外部接続ボックス配線及びスピーカー移動工事 | 990,900 | |
| | グラウンド内木製ベンチ改修工事 | 490,320 | |
| | プールろ過装置№２ヘアキャッチャー、バルブ取替 | 254,631 | |
| | 誘導灯設備他消防設備修繕工事 | 266,932 | |
| | 緊急通報装置設置工事 | 37,800 | |
| | プールろ過装置廻り排水バルブ取替工事 | 65,059 | |
| | プールろ過装置　ろ過タンクピンホール修理 | 51,624 | |
| | １階大型シンク漏水修理工事 | 64,800 | |
| | ろ過タンクピンホール修理工事 | 51,624 | |
| | アスレチックコンビネーション補修工事 | 307,800 | |
| | ガス漏れ配管修理工事 | 39,960 | |
| | ３階手洗場漏水修理工事 | 70,200 | |
| | プール散水栓修繕他工事 | 32,940 | |
| | 尿石除去・小便器ストール交換工事 | 35,640 | 2,760,230 |
| 八千種小 | 教室仕切り等引き戸ドア並びに戸車及び倉庫折れ戸調整 | 499,500 | |
| | 体育館入口歩行者用タイル他修理工事 | 420,336 | |
| | 運動場南側フェンス穴あき補修及び引き線取替工事 | 299,808 | |
| | 消防設備修繕工事 | 427,802 | |
| | 緊急通報装置設置工事 | 37,800 | |
| | Ｕ字溝入替工事 | 19,440 | |
| | 体育館舞台照明器具入替工事 | 62,748 | |
| | 多目的ホール照明器具入替工事 | 39,960 | |
| | 会議室クロス貼替工事 | 120,000 | 1,927,394 |
| 合　　計 | | | 9,428,408 |

| 成果 | □効果・達成度<br>緊急を要する箇所については、修繕できました。<br>□めざそう値<br>第５次総合計画めざそう値 ／ 目標（H30年度）：大規模改修実施学校数 3校※ ／ 実績（H27年度）：0校<br>（※目標学校数は小学校・中学校あわせたもの）<br>□課題・改善<br>学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所については修繕できましたが、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。補修の真に必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。 |
|---|---|

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 9,429,000 | 9,428,408 | | | | 9,428,408 |

| 事業名 | 学校施設耐震化事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 避難所ともなっている福崎小学校、高岡小学校及び八千種小学校各体育館の非構造部材耐震化工事に要した経費です。 |
| 成果 | ■工事費<br>非構造部材耐震化工事費　43,751,880 円（請負業者：㈱海老名組）<br>□効果・達成度<br>体育館の吊り天井の撤去や照明器具の落下防止、窓ガラスへの飛散防止フィルム貼付等の工事を行いました。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 43,772,000 | 43,766,152 | 14,858,000 | 28,800,000 | | 108,152 |

１次評価：　Ａ

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.小学校費 | 2.教育振興費 | 8,068,000円 | 7,920,479円 | 147,521円 |

心身に障がいを有する児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 小学校教育振興事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。<br>教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。 |
| 成果 | 備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。<br>福崎小　４学級（知的、自閉症・情緒、難聴、肢体）<br>高岡小　１学級（知的）<br>田原小　４学級（知的、自閉症・情緒、難聴、肢体）<br>八千種小　３学級（知的、自閉症・情緒、難聴）<br>■学校別児童数調（特別支援学級）　H27.５.１現在（単位：人）<br>■備品購入費　（単位：円）<br>経済的理由で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。<br>■就学援助費支給状況<br>□効果・達成度<br>就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。<br>□課題・改善<br>さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。 |

| 校名＼学年 | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | ５年 | ６年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福崎小学校 | 4 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 11 |
| 高岡小学校 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 田原小学校 | 0 | 2 | 1 | 5 | 2 | 0 | 10 |
| 八千種小学校 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 | 7 |
| 計 | 5 | 3 | 4 | 8 | 5 | 4 | 29 |

| 校名＼校名 | 福崎小 | 高岡小 | 田原小 | 八千種小 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般備品 | 91,512 | 0 | 200,788 | 306,212 | 598,512 |
| 教材備品 | 199,498 | 134,466 | 12,960 | 143,640 | 490,564 |
| 計 | 291,010 | 134,466 | 213,748 | 449,852 | 1,089,076 |

| 扶助内容 | 人数(人) | 金額(円) |
|---|---|---|
| 学用品 | 89 | 1,062,518 |
| 修学旅行 | 17 | 348,228 |
| 医療費 | 3 | 12,840 |
| 新入学学用品 | 12 | 191,850 |
| 給食費 | 89 | 3,341,622 |
| ＰＴＡ会費 | 34 | 79,400 |
| 計 | 244 | 5,036,458 |

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 8,068,000 | 7,920,479 | 275,000 | | | 7,645,479 |

| １次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.小学校費 | 3.体育館建設費 | 351,338,000 円 | 351,330,335 円 | 7,665 円 |

危険改築に伴う田原小学校体育館の建設に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 田原小学校体育館建設事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 旧体育館を解体後、田原小学校新体育館を建設しました。 |
| 成果 | ■委託料<br>工事監理委託料　1,880,400 円　（請負業者：㈱村上建築設計室）<br>■主な工事費<br>建設工事費　342,380,640 円　（請負業者：立建設㈱）<br>■備品購入費　6,491,951 円<br>□効果・達成度<br>平成 26 年度に第１期工事として実施した旧体育館の解体工事に続き、平成 27 年度は、学校施設環境改善交付金と公立学校施設整備費国庫負担金を充当し、第２期工事として体育館の建設工事を行いました。また、建設に伴い必要な備品を購入しました。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 351,338,000 | 351,330,335 | 82,775,000 | 220,600,000 | | 47,955,335 |

1次評価：　B

⑶　中学校費

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 3.中学校費 | 1.学校管理費 | 71,319,000円 | 70,412,676円 | 906,324円 |

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託２人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。また、体育館非構造部材の耐震化工事を行い、学校施設の環境改善に取り組みました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 中学校管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校教育法に定める目標及び目的達成のための教育を推進しました。 |
| 成果 | 目的を達成するために合理的な運営を行いました。<br>無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。 |

成果

■学校別生徒・教職員数調　　H27．5．1現在（単位：人）

| 校名＼学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 計 | 教　員 | 事務職・用務員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 福崎西中学校 | 73 | 79 | 87 | 239 | 25 | 2 |
| 福崎東中学校 | 104 | 118 | 112 | 334 | 25 | 2 |
| 計 | 177 | 197 | 199 | 573 | 50 | 4 |
| 平成26年度 | 197 | 196 | 195 | 588 | 48 | 4 |

■校医等の報酬

内 科 医（2人）　1,038,250円　　定期健康診断、マラソン前健康診断他
歯 科 医（2人）　659,470円
眼 科 医（1人）　363,850円
耳鼻科医（2人）　354,850円
薬 剤 師（2人）　97,400円　　教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査

■施設修繕料　　（単位：円）

| 福崎西中学校 | 福崎東中学校 | 計 |
|---|---|---|
| 1,312,437 | 489,240 | 1,801,677 |

■委託料関係　　（単位：円）

| 区分＼校名 | 福崎西中 | 福崎東中 | 計 |
|---|---|---|---|
| 植木剪定委託料 | 5,553 | 100,000 | 105,553 |
| スクールカウンセラー活動委託料 | 150,000 | 150,000 | 300,000 |
| リソグラフ保守管理委託料 | 114,780 | 0 | 114,780 |
| 「トライやる・ウィーク」推進事業委託料 | 400,000 | 600,000 | 1,000,000 |
| 清掃委託料 | 120,000 | 0 | 120,000 |
| 警備委託料 | 294,192 | 294,192 | 588,384 |
| 電気設備管理委託料 | 129,600 | 129,600 | 259,200 |
| 貯水槽管理委託料 | 103,140 | 103,140 | 206,280 |
| 給食用昇降機点検委託料 | 54,000 | 54,000 | 108,000 |
| 消防設備点検委託料 | 34,452 | 34,452 | 68,904 |
| プール循環装置点検委託料 | 21,384 | 21,384 | 42,768 |
| エレベーター点検委託料 | 440,640 | 0 | 440,640 |
| 教育用コンピュータ保守管理委託料 | 777,708 | 777,708 | 1,555,416 |
| 計 | 2,645,449 | 2,264,476 | 4,909,925 |

■借上料

中学校コンピュータ等借上料　　2,261,832円

■備品購入費関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により、図書購入・理科教材等備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。

| 区分＼校名 | 福崎西中学校 | 福崎東中学校 | 事務局 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 一般備品 | 564,948 | 1,990,790 | 360,180 | 2,915,918 |
| 教材備品 | 881,856 | 790,402 | 266,112 | 1,938,370 |
| 図書購入費 | 0 | 321,562 | 0 | 321,562 |
| 計 | 1,446,804 | 3,102,754 | 626,292 | 5,175,850 |

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 39,386,000 | 38,487,378 | 1,008,000 | | | 37,479,378 |

| 事業名 | 中学校施設補修事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校施設の補修等に要した経費です。 |

成果

老朽化等による不良箇所の修繕等を行いました。

■施設補修関係　（単位：円）

| 学校名 | 内容 | 金額 | 各学校合計 |
|---|---|---|---|
| 福崎西中 | 廊下手洗い場スラブ排水工事 | 302,400 | |
| | プール観客席補修工事 | 1,706,400 | |
| | 消防設備修繕工事 | 373,842 | |
| | 緊急通報装置設置工事 | 37,800 | |
| | プールろ過器補修工事 | 304,560 | |
| | バスケットゴールボード修理工事 | 299,916 | |
| | 体育館玄関雨漏り調査及び修理工事 | 64,800 | |
| | トイレ洋式化工事（男女各１箇所） | 499,932 | |
| | 体育館カーテン取替工事 | 394,000 | |
| | ダムウェーター修理工事 | 21,600 | 4,005,250 |
| 福崎東中 | 職員男子トイレ排水管修理工事 | 486,000 | |
| | 体育館カーテン交換工事 | 446,040 | |
| | 校舎４階美術室他天井ボード修繕工事 | 313,200 | |
| | 誘導灯設備他消防設備修繕工事 | 363,830 | |
| | 自動火災報知設備他消防設備修繕工事 | 246,985 | |
| | 緊急通報装置設置工事 | 37,800 | |
| | プールろ過装置ろ過タンクピンホール修理工事 | 55,188 | |
| | プール下漏水修理工事 | 75,600 | |
| | プールろ過装置ヘアキャッチャー網取替修理工事 | 93,960 | |
| | トイレ洋式化工事（男女各１箇所） | 496,260 | |
| | 防犯灯設置工事 | 163,080 | |
| | 防犯灯修繕工事 | 55,080 | 2,833,023 |
| 合計 | | | 6,838,273 |

□効果・達成度

いずれの中学校においても学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所について、修繕できました。しかし、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。

□課題・改善

補修の真に必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 6,840,000 | 6,838,273 | | | | 6,838,273 |

<table>
<tr><td colspan="2">事業名</td><td colspan="5">学校施設耐震化事業</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="6">避難所ともなっている福崎西中学校及び福崎東中学校各体育館の非構造部材耐震化工事に要した経費です。</td></tr>
<tr><td>成果</td><td colspan="6">■工事費　　非構造部材耐震化工事費　20,817,000 円（請負業者：㈱海老名組）<br>□効果・達成度<br>体育館のバスケットゴールや照明器具の落下防止、窓ガラスへの飛散防止フィルム貼付等の工事を行いました。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">予　算　額</td><td rowspan="2">決　算　額</td><td colspan="4">財　源　内　訳　　（単位:円）</td></tr>
<tr><td>国県支出金</td><td>地　方　債</td><td>そ　の　他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td colspan="2">20,817,000</td><td>20,817,000</td><td>7,045,000</td><td>13,700,000</td><td></td><td>72,000</td></tr>
</table>

１次評価：　Ａ

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 3.中学校費 | 2.教育振興費 | 6,016,000円 | 5,534,949円 | 481,051円 |

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 中学校教育振興事業 |
|---|---|

**事業内容**

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。
教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

**成果**

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。
西中　３学級（知的、自閉症・情緒、肢体）
東中　２学級（知的、自閉症・情緒）

■学校別生徒数調（特別支援学級）　H27.５.１現在（単位：人）

| 校名＼学年 | １年 | ２年 | ３年 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 福崎西中学校 | 3 | 3 | 3 | 9 |
| 福崎東中学校 | 1 | 0 | 2 | 3 |
| 計 | 4 | 3 | 5 | 12 |

■備品購入費　（単位：円）

| 区分＼校名 | 福崎西中学校 | 福崎東中学校 | 計 |
|---|---|---|---|
| 一般備品 | 77,436 | 0 | 77,436 |
| 教材備品 | 0 | 182,480 | 182,480 |
| 計 | 77,436 | 182,480 | 259,916 |

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

■就学援助費支給状況

| 扶助内容 | 人数(人) | 金額(円) |
|---|---|---|
| 学用品 | 48 | 1,004,487 |
| 修学旅行 | 16 | 852,200 |
| 医療費 | 1 | 5,680 |
| 新入学学用品 | 12 | 214,350 |
| 給食費 | 48 | 1,980,729 |
| クラブ活動費 | 19 | 326,030 |
| 生徒会費 | 40 | 50,680 |
| ＰＴＡ会費 | 40 | 69,150 |
| 計 | 224 | 4,503,306 |

□効果・達成度
就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□課題・改善
さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 6,016,000 | 5,534,949 | 265,000 | | | 5,269,949 |

⑷　社会教育費

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 1.社会教育総務費 | 50,275,000円 | 49,634,059円 | 640,941円 |

生涯学習社会の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 社会教育総務一般事務費 |
|---|---|
| 事業内容 | 社会教育委員７人に係る報酬、社会教育全般にわたる事務事業の推進のために要した経費です。<br>主な事業として、成人式や吉識雅夫科学賞を実施しました。 |
| 成果 | ■社会教育委員会の活動<br>・社会教育委員会<br>第１回　５月18日（月）<br>第２回　12月16日（水）<br>第３回　２月29日（月）<br>・中・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会　７月16日（木）<br>・近畿地区社会教育研究大会（奈良市）　９月４日（金）<br>・中播磨地区社会教育連絡協議会研修会　11月５日（木）<br>■成人式　１月11日（月・祝）　該当者265人中184人の参加<br>新成人代表11人による実行委員会を組織し、企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを、積極的に進めてくれました。<br>・第１部　成人式式典<br>・第２部　アトラクション（ビンゴゲーム）<br>■第８回吉識雅夫科学賞<br>吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。<br>・小学生低中学年の部<br>大塚みつき（田原小学校４年生）　作品名「プラスチックのひみつ」<br>・小学生高学年の部<br>廣田梨沙（福崎小学校６年生）　作品名「野菜のでんぷんを取り出そう！」<br>・中学生の部<br>岩木喬之（福崎西中学校３年生）　作品名「自転車発電における効率的方法」<br>□効果・達成度<br>社会教育委員から意見を聞き、成人式や吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。成人式は約69％の出席率となりました。成人対象者に神戸医療福祉大学の学生、海外研修生が多かったことが、昨年より出席率が低下した原因と考えられます。吉識雅夫科学賞は平成27年度で８回目を迎え、ホームページ等を用いて住民への周知に努めました。<br>□課題・改善<br>地域のニーズや課題に対応した各種事業が展開できるよう、社会教育委員の意見を求めていきます。また、委員の研修機会を充実します。 |

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 1,925,000 | 1,619,650 | | | | 1,619,650 |

| 事業名 | 地域ぐるみ教育支援事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、学校から依頼を受けて行った登下校時の見守りや校内巡視、図書貸し出し等の学校支援活動です。 |
| 成果 | ■学校支援活動（学校支援地域本部事業）<br>・ヘルパー活動<br>スクールヘルパー　…　午前・午後各３～５人ずつによる校内巡視<br>地域ヘルパー　…　登下校時の見守り（１自治会で２～３か所） |

| | スクールヘルパー | 地域ヘルパー |
|---|---|---|
| 福崎小学校　（147 人） | 毎週火・木曜日 | 毎週金曜日 |
| 高岡小学校　（ 57 人） | 毎週水曜日 | 毎週水曜日 |
| 田原小学校　（149 人） | 毎週月・水・金曜日 | 週３回 |
| 八千種小学校（122 人） | 毎週火・木曜日 | 毎週水曜日 |

成果

・学校支援ボランティア活動

| 依頼内容 | 学校 | 支援者 | 実施日 | 活動場所 |
|---|---|---|---|---|
| 図書貸出 | 八千種小学校 | 10 人 | 平成26年度に引き続き４月28日から毎週月曜～金曜(昼) | 図書室 |

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

・土曜英語教室　小学５・６年生対象
平成27年６月から平成28年３月までの土曜日　各校区月１回
高岡県民交流広場、福崎県民交流広場、サルビア会館、八千種県民交流広場

・サマースクール　小学４・５・６年生対象
平成27年８月３日(月)～７日(金)
八千種県民交流広場、高岡県民交流広場
平成27年８月５日(水)～７日(金)・10日(月)・11日(火)
福崎県民交流広場、サルビア会館

・粘土で“妖怪づくり教室”　小中学生対象
平成27年８月12日(水)～14日(金)　文化センター

・ウィンタースクール　中学３年生対象
平成27年10月17日(土)～平成28年３月５日(土)の土曜日
文化センター、サルビア会館（会場交互で実施）

□効果・達成度

地域ボランティアの支援で、子どもたちの安全確保ができました。活動を通して子どもたちと地域ボランティアがふれあうこともできました。また学校の休業日・土曜日に、地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また休業日の学習への参加者が増えるよう、より一層周知に努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　(単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,156,000 | 1,031,591 | 547,000 | | | 484,591 |

| 事業名 | 青少年健全育成関係事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。 |
| 成果 | ■青少年問題協議会の開催（年２回）<br>第１回目　平成27年６月26日（金）<br>第２回目　平成28年３月２日（水） |

成果

■研修会・フェスティバルの開催
・人権・青少年健全育成研修会
（区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修）
平成27年５月23日（土）　啓発ＤＶＤ視聴・講話　参加者：87人
・人権・青少年健全育成フェスティバル
平成27年12月５日（土）　福崎町エルデホール　参加者：約290人
（内容）体験発表　　小中学生
講演　　演題：「『かたり』の世界～戦後70年 語り継ぐ平和への想い～」
講師：タレント　山田雅人
展示　　人権意識高揚活動記録、戦争関連資料
■青少年健全育成啓発物資配布（「地域の子どもは地域で育てる」印字ボールペン350本）
■青少年健全育成啓発リーフレットの作成（各戸、町内店舗等に配布）　6,300枚　15,675円
■青少年補導委員会活動状況
・定例会　11回
・街頭補導（下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回、イベント時巡回等）

| | 27年度 | 26年度 | 25年度 |
|---|---|---|---|
| 街頭補導回数 | 86回 | 85回 | 85回 |

□効果・達成度
研修会、フェスティバル等により、地域住民の青少年健全育成意識を高めることができました。自治会単位研修会ではＳＮＳ（ソーシャルネットワーキングサービス）について学習し、保護者、地域の方々に、インターネットの利便性とともに危険性を正しく認識していただくことができました。
また、啓発リーフレットの作成や啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりを行うことができました。
□課題・改善
今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施します。また、スマートフォン等の利用の低年齢化が進んでいるため、小学校におけるインターネット利用に関する基準づくりを支援します。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,768,000 | 2,726,386 | | | | 2,726,386 |

| 事業名 | 家庭教育学級開設事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 幼児園（４園）・小学校（４校）・中学校（２校）の保護者会会員・ＰＴＡ会員を対象に、各保護者会・ＰＴＡ学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応した学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動やスポーツ大会等、１年を通して実施するために要した費用です。 |
| 成果 | ■家庭教育学級委託料<br>幼児園　　４園@40,000円＝160,000円<br>小中学校　６校@80,000円＝480,000円 |

| | |
|---|---|
| 成果 | □効果・達成度<br>　学級開設により、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。<br>□課題・改善<br>　今後も継続して実施し、保護者の子育てを支援していきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 640,000 | 556,384 | | | | 556,384 |

| 事業名 | 各種団体育成事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 　社会教育関係団体を育成することを目的とし、自主的な活動を財政的な面から支援しました。主な支出は、町ＰＴＡ、町文化協会への補助金です。平成27年度は町文化協会創立30周年記念事業実施のため補助金を増額して支出しました。 |
| 成果 | ■負担金<br>　・神崎郡美術協会負担金　22,000円　　・神崎郡連合ＰＴＡ協議会負担金　56,000円<br>■補助金<br>　・福崎町ＰＴＡ協議会補助金　80,000円　・福崎町文化協会補助金　650,000円<br>□効果・達成度<br>　町内及び郡内の社会教育関係団体と連携を図り、各種事業を実施することができました。<br>□課題・改善<br>　今後も継続して実施し、社会教育の発展に努めます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 808,000 | 808,000 | | | | 808,000 |

| 事業名 | こころ豊かな地域づくり推進事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 　こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成する事業を実施しました。 |
| 成果 | ■福崎町ココロンクラブ<br>　年間９回（４月～11月・３月の毎月１回）役場周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。<br>■みどりのグループ<br>　年間を通じて、毎月２回、町内の５か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。<br>■福崎町手芸ボランティア<br>　趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。<br>■国際食文化交流の会<br>　福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる環境づくりを進めるため、２か月に１回、料理を通して国際交流を行いました。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■たんぽぽ<br>　子どもや高齢者、障がいのある方々に、お話や簡単な手遊び等で、癒しのひとときを過ごしてもらいました。<br>□効果・達成度<br>　“住みよい町づくり”を目指してボランティア会員に大変熱心に取り組んでいただきました。<br>□課題・改善<br>　ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広めて新規会員の加入促進に努めます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 380,000 | 328,888 | | | | 328,888 |

1次評価：　B

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 2.公民館費 | 7,234,000円 | 6,975,220円 | 258,780円 |

生涯学習の場の提供、町民が主体的に学習するための講座や教室の開講に要した経費です。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 公民館運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、活動の場と交流の機会を提供し、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行いました。 |

成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

| 登録会場名 | 登録クラブ数（クラブ） | 登録人数（人） |
|---|---|---|
| 文化センター会場 | 34 | 387 |
| 八千種研修センター会場 | 21 | 237 |
| 地区会場 | 37 | 282 |
| 合計 | 92 | 906 |

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会（事務局：文化センター）に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組まれ、住民の文化の高揚、研さんの場として施設を有意義に利用されました。

■文化功績賞

| 氏名 | 所属 | 分野 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 上村勇貴 | 県立福崎高等学校２年生 | 写真 | 第38回兵庫県高等学校総合文化祭写真部門　特選 |
| 則政亜香梨 | 県立福崎高等学校２年生 | 写真 | 第23回春季写真コンテスト特選 |

□効果・達成度

町内外の行事やイベントに積極的に参加することで、各クラブの活動の幅が広がりました。

成果

□課題・改善

公民館クラブ会員の高齢化が進んでいるため、活性化に向けて若年層の利用促進を支援していきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,164,000 | 2,095,472 | | | | 2,095,472 |

| 事業名 | 老人大学事業 |
|---|---|
| 事業内容 | ともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的として、老人大学事業を実施しました。 |

成果

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず募集しました。

神崎学園（２年制）・福寿学園として２学園制で運営しました。専門講座では、年間20回、園芸（野菜・花き）・陶芸・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・史学・ＩＴの全８コースの講座を行いました。一般教養講座については、年間10回の講演会等を開催し、10月に親睦運動会、11月に老人大学祭を実施しました。

■受講生の推移　（単位：人）

| | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|---|---|---|---|
| 神崎学園 | 101 | 88 | 94 |
| 福寿学園 | 211 | 212 | 199 |
| 合　計 | 312 | 300 | 293 |

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、学習の場と交流の機会を提供し、生きがいづくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会の自主的なクラブ活動等も活発になりました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H27年度） |
|---|---|---|
| 老人大学受講者数 | 360人 | 293人 |

□課題・改善

受講生のニーズを調査し、専門講座の再編等を検討します。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,409,000 | 2,401,480 | | | 52,000 | 2,349,480 |

| 事業名 | セミナー事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 有益な知識や情報を提供し、現在の生活を見つめ直して、心豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施しました。 |

成果

■サルビアセミナー

開 催 回 数：10回（うち５回公開講座）

学習テーマ：「脳トレで若返り!!～回想法で認知症予防～」、「楽しい篆刻入門」、「柳田國男とエスペラントの世界」、「野菜ソムリエの発酵食品料理講座」、「真田幸村と戦国時代」、「年末のかんたんお片付け講座」、「フォークソング・ライブ」等

受講生の推移

| | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|---|---|---|---|
| 受講生（人） | 211 | 190 | 194 |

□効果・達成度

座学だけでなく、参加体験型講座や課外学習も行い、講座の活性化を図りました。

受講生同士の交流も活発になり、新たなコミュニティ形成につながりました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H27年度） |
|---|---|---|
| セミナー事業受講者数 | 220人 | 194人 |

□課題・改善

男性受講者の増加に向け、講座内容の創意工夫に努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 541,000 | 430,033 | | | 163,000 | 267,033 |

| 事業名 | 美術展事業 |
|---|---|

事業内容

優れた芸術作品に親しみ、町民の芸術文化への関心を高めるために、第33回福崎町美術展を開催しました。地域に根をおろした内容のある公募美術展として定着し、平成27年度も約600人の来場者がありました。なお、平成27年度は出品された全作品を審査の上、展示しました。

成果

■第33回福崎町美術展

会期：平成27年５月15日（金）～５月17日（日）

会場：エルデホール　メインホール

部門及び審査員　日本画　平内安彦

洋画　初田　寿

書　福島松韻

写真　柳原　香

彫塑・工芸　山本和子

美術展応募数・展示数

| | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|---|---|---|---|
| 応募数（点） | 182 | 180 | 209 |
| 展示数（点） | 137 | 135 | 209 |

□効果・達成度

町内外から質の高い作品が出展され、日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができました。

□課題・改善

町内外から多くの作品応募があるよう、また、多くの来場者があるよう、広報活動の充実に努めます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 926,000 | 916,035 | | | | 916,035 |

| 事業名 | 文化振興事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に実施しました。県民芸術劇場では、初心者向けのオペラコンサートを楽しむことができました。文化講演会では、経済や男女共同参画の観点からライフスタイルについてご講演いただきました。 |
| 成果 | ■県民芸術劇場<br>日時：平成27年10月25日（日）午後２時～<br>場所：エルデホール　メインホール<br>出演：関西歌劇団<br>内容：「オペラってこんなに面白い！<br>～喜歌劇『こうもり』ハイライト～《日本語上演・解説付》」<br>入場者数：約300人<br>■文化講演会<br>日時：平成27年10月31日（土）午後３時～<br>場所：文化センター　大ホール<br>演題：「モリタク流　女と男の経済学～格差社会・不況に負けない幸せな生き方～」<br>講師：獨協大学経済学部教授・経済アナリスト　森永卓郎<br>入場者数：約600人<br>□効果・達成度<br>事業を通して、町民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。<br>□課題・改善<br>より多くの方に来場いただけるように、住民ニーズの動向に注意し、また広報活動に力を入れて取り組んでいきます。 |

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 1,194,000 | 1,132,200 | | | | 1,132,200 |

| 1次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 3.図書館費 | 51,708,000円 | 50,733,765円 | 974,235円 |

平成27年度は、開館10周年を迎え、より多くの方に図書館を知ってもらい、利用してもらえるよう10周年記念行事を全５回開催し、来館のきっかけづくりに努めました。また、11月から播磨圏域相互利用が開始され、姫路市や市川町等から多数の登録があり、より活気のあふれる図書館になっています。

各学校と連携し、図書館見学の受け入れや、町内の学校を訪問しておはなし会を開催しました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 図書館管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 住民が学習・調査研究を行う情報拠点として、また各種講座やイベント、ボランティア活動等を通した学習発表の場として、安全で快適に利用できるよう施設管理に努めました。施設の維持管理に係る光熱水費や修繕費、委託料が主な支出です。 |
| 成果 | 図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。<br>・屋上空調設備凍結による漏水箇所修理（73,440円）<br>・植木剪定（224,640円）<br>□効果・達成度<br>定期点検等の実施により、安全で安心な施設管理、運営ができています。<br>□課題・改善<br>10年が経過し、傷みが見られる箇所も出てきているため耐久性延伸のための修繕をする必要があります。定期的な点検、補修を継続して実施することで、安心して利用できる施設を目指します。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 10,559,000 | 10,114,843 | | | | 10,114,843 |

| 事業名 | 図書館運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行えるように資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。<br>10周年を迎え、新たな利用者を増やすため、ヤングアダルト（中高生）や大人向け行事を実施しました。また、幼少期の読書習慣の重要性を考慮し、子どもの読書環境整備につながる行事等を実施しました。 |

成果

平成27年度は、開館10周年の記念行事を中心にした読書活動の推進に努めました。幅広い年齢層の方に図書館に来てもらえるよう、対象年齢層をしぼった行事を全５回開催しました。町内小中学生に配布している「福崎町立図書館読書ノート」の活用や、フクちゃん読書の日イベント、ワークショップの実施により、子どもの読書活動推進に努めました。また、図書館に興味を持ってもらえる行事を実施することで来館のきっかけづくりに努めました。

■10周年記念行事

第１弾　たなばた会（どなたでも）
第２弾　宝さがし（子ども向け）
第３弾　映画会（大人向け）
第４弾　写生大会（どなたでも）
第５弾　あさのあつこさんトークショー・サイン会（中高生、大人向け）

■子ども向け行事

布絵本さんの手づくり教室
えかきももみさんによるワークショップ
図書館であそぼ会
フクちゃん読書の日イベント

■大人向け行事

キャンドルナイト
絵本の読み聞かせ講座（全３回）

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。（200,000 円）

■貸出冊数・貸出人数

| | 貸出人数(人) | 貸出点数(点) | 年度末登録者数(人) |
|---|---|---|---|
| 25 年度 | 46,717 | 202,308 | 12,775 |
| 26 年度 | 46,871 | 206,674 | 13,277 |
| 27 年度 | 49,253 | 222,407 | 14,512 |

成果

□効果・達成度

平成27年11月から播磨圏域相互利用が開始され、利用者数、貸出冊数ともに急激に増加しています。町外の主な登録者は香寺町、夢前町、市川町、神河町在住者です。

年度末の蔵書点数は、135,542点となりました。

定例行事の「えほんのじかん」、「おはなし会」、「おたのしみ会」等は、応援隊と協力しながらたくさんの子どもたちに参加してもらい、絵本や読書の楽しさを伝えることができました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H27年度） |
|---|---|---|
| 図書館貸出人数 | 50,000人 | 49,253人 |

□課題・改善

学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、子どもの読書活動を推進していきます。

中高生や大人向けの行事を増やし、幅広い世代を対象として、継続した図書館利用につなげていく必要があります。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 22,164,000 | 21,880,296 | | | 94,550 | 21,785,746 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 4.文化センター管理費 | 34,826,000円 | 34,773,966円 | 52,034円 |

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 文化センター管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 文化センターは近隣施設との連携によって、町民の文化意識の向上、福祉増進及び体育振興のため、各種事業展開の中心的役割を果たしています。学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点として、文化センターの効率的な管理運営を行いました。<br>主な支出は、施設の維持管理に要した経費で、人件費、光熱水費、維持補修費、委託料等です。 |

成果

■施設の維持補修

平成 27 年度は施設の維持補修として、２階西部子育て学習センター照明器具更新（498,960円）、屋上三角屋根コーキング補修工事（437,400 円）、２階和室照明器具更新（156,384 円）等を行いました。また、今後の施設改修等に向けて、社会教育施設トイレ洋式化工事実施設計業務（702,000 円）、大ホール吊り天井対策等調査点検業務（216,000 円）を行いました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第 32 号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

| | 有料及び無料使用件数 | | | | | 使用料（円） | 使用者数（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 有料（件） | 無料（件） | | | 合計（件） | | |
| | | 町関係他 | 公民館 | 教委 | | | |
| 25年度 | 313 | 200 | 1,137 | 634 | 2,284 | 811,782 | 42,292 |
| 26年度 | 309 | 195 | 1,034 | 561 | 2,099 | 971,678 | 37,872 |
| 27年度 | 337 | 168 | 1,113 | 415 | 2,033 | 892,803 | 36,744 |

（※平成26年度から生活科学センター分を除く）

□効果・達成度

適切な補修により、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化や社会状況から、耐震補強等の抜本的な施設補修、トイレの洋式化・バリアフリー化が必要となってきています。平成 28 年度は１階及び２階トイレ洋式化工事を実施予定であり、今後も利用者の安全面や利便性を優先した補修に努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 10,685,000 | 10,644,446 | | | 924,803 | 9,719,643 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 5.エルデホール運営費 | 61,489,000円 | 59,620,749円 | 1,868,251円 |

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。施設の運営、管理に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | エルデホール管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。また施設及び設備の利用をとおしてより高い水準の文化活動を促進する施設として運営しています。これらの運営とともに施設の良好な状態を維持管理するために要した経費で、人件費、光熱水費、修繕費、委託料等です。 |

成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

| 年度 | | | ﾒｲﾝﾎｰﾙ | ｲﾍﾞﾝﾄﾎｰﾙ | 洋室 | スタジオ | ホワイエ | 屋外舞台 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25年度 | 開館日数293 | 利用日数(日) | 183 | 163 | 201 | 129 | 103 | 6 |
| | | 稼働率(%) | 62.46 | 55.63 | 68.60 | 44.03 | 35.15 | 2.05 |
| 26年度 | 開館日数293 | 利用日数(日) | 188 | 166 | 203 | 107 | 119 | 14 |
| | | 稼働率(%) | 64.16 | 56.66 | 69.28 | 36.52 | 40.61 | 4.78 |
| 27年度 | 開館日数293 | 利用日数(日) | 187 | 162 | 190 | 133 | 114 | 12 |
| | | 稼働率(%) | 63.82 | 55.29 | 64.85 | 45.39 | 38.91 | 4.10 |

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。１日に複数の利用者があっても１としています。

| 年度 | 貸館使用料収入 | 使用回数 | 使用者数 |
|---|---|---|---|
| 25年度 | 3,598,320円 | 876回 | 46,653人 |
| 26年度 | 3,941,469円 | 899回 | 56,541人 |
| 27年度 | 3,520,267円 | 897回 | 53,190人 |

■主な施設修繕工事費

開館から20年以上が経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。平成27年度は非常用自家発電装置が故障したため修繕しました。また、トイレを一部洋式化し高齢者にも優しい施設づくりに努めました。その他、ホワイエ照明器具の改修、吸収式冷温水機の修繕、特定建築物指摘事項の改善を実施しました。また、安全で快適なホールを維持するため、各種の保守点検を行いました。

□効果・達成度

安全かつ快適に利用いただけるよう修繕に努めました。

□課題・改善

施設が老朽化し、故障箇所が増えています。照明や音響装置、消防設備等、大規模な改修が必要になってきていますが、修繕費が高額なため計画的な対応が必要です。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 (単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 33,568,000 | 32,214,970 | | | 3,552,267 | 28,662,703 |

| 事業名 | エルデホール自主公演事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 自主事業は、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業、住民参加型事業等、テーマ別に実施しました。また、地域文化の振興を目的に、芸術や文化の各種催しを企画から運営までを学ぶ文化プロデューサー育成講座を継続して実施しました。 |

成果

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために９回の自主公演事業（うち２回は住民企画事業）、６回の文化プロデューサー育成講座を実施しました。これにともなう入場料収入の合計は3,140,200円でした。

自主事業一覧

| 実施日 | 内容 | 人数（人） |
|---|---|---|
| 7月25日(土)～11月14日(土) | 文化プロデューサー育成講座（全６回） | のべ31 |
| ８月９日(日) | エルデサマーコンサート2015「青島広志のおしゃべりクラシック」 | 318 |
| ８月22日(土) | アニメ漫才「アキラボーイ」 | 158 |
| ８月23日(日) | 打打打団 天鼓 in福崎 | 301 |
| ９月５日(土) | 淡路人形浄瑠璃 | 318 |
| 11月15日(日) | なつかしの映画祭 | 144 |
| 11月22日(日) | ﾌｧﾐﾘｰｺﾝｻｰﾄ～素敵なｽｸﾘｰﾝﾐｭｰｼﾞｯｸ～ | 318 |
| 12月19日(土) | が～まるちょばライブ | 300 |
| １月30日(土) | パーマネントフィッシュアカペラコンサート | 311 |
| ２月14日(日) | ふくさきカラオケ紅白歌合戦 | 268 |
| | 計 | 2,467 |

成果

□効果・達成度

平成27年度も住民の方が企画者として事業に参加していただく住民企画事業を募集し、２公演を実施することができました。毎年恒例のサマーコンサートでは福崎高校ギター・マンドリン部、１月のアカペラコンサートでは福崎高校コーラス部等が参加しました。地域住民が参加することにより、地域づくりへの住民意識の高揚を図りました。また、観客が参加できる公演では、間近でプロの方と触れ合うことができ、多くの方に喜んでいただきました。

なお、平成 27 年度のエルデホール自主公演事業平均入場者数は、271 人でした。

文化プロデューサー育成講座は、６回実施しました。平成27年度は基本に戻り、受講生が企画を考える講座を実施しました。

□課題・改善

平成26年度と比較すると集客面では、入場者数が減となりましたが、引き続き高い集客率を維持することができました。住民の方に足を運んでいただき、心のよりどころとなる事業、生涯学習を兼ねた事業が展開できるよう努めます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一 般 財 源 |
| 13,033,000 | 12,748,482 | | | 3,140,200 | 9,608,282 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 6.研修センター運営費 | 7,615,000円 | 7,470,017円 | 144,983円 |

八千種研修センターは、住民の文化教養の向上や地域社会の連携を深めるために運営しました。その管理・運営を効率的に行うために要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 研修センター管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 八千種研修センターは文化センター（中央公民館）の分館として、地域文化の向上、研さんの場としての役割を果たしています。利用者が安全で快適に利用できるよう、管理運営を行いました。<br>主な支出としては、施設の管理運営費と図書購入費です。 |
| 成果 | ■施設の維持補修<br>平成27年度は施設の維持補修として、１階トイレ洋式化工事（1,963,509円）、屋外掲示板取替（199,800円）、避難口誘導灯取替（102,600円）等を実施しました。<br>■八千種研修センターの利用状況<br>第30回八千種研修センターまつりを平成27年10月17日（土）・18日（日）に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。なお、２日目には八千種研修センターまつり30周年記念事業として「吉本お笑いライブ」を開催しました。<br>■利用状況の推移及び貸出図書数　（　）は有料件数 |

| | 使用件数(件) | 使用人数(人) | 使用料（円） | 貸出図書数(冊) |
|---|---|---|---|---|
| 25年度 | 913（26） | 16,914 | 7,730 | 2,305 |
| 26年度 | 935（41） | 15,742 | 21,000 | 2,109 |
| 27年度 | 889（53） | 14,307 | 20,850 | 1,957 |

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。１階トイレ洋式化工事の実施により、利用者の快適性が向上しました。

□課題・改善

平成28年度は、２階トイレ洋式化工事を実施し、施設改修を進めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 5,157,000 | 5,014,974 | | | 20,850 | 4,994,124 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 7.青少年野外活動センター費 | 5,352,000円 | 4,708,778円 | 643,222円 |

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要する経費です。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 青少年野外活動センター管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民の自然にふれる機会や交流の場を提供しました。施設管理に係る光熱水費及び委託料、施設修繕料が主な支出です。 |

成果

■主な施設修繕工事費

・炊事場給水設備撤去工事　98,280円（請負業者：高岡電工㈱）

・管理棟光ケーブル用配管工事　80,762円（請負業者：高岡電工㈱）

・山小屋換気扇、コンロ取替工事　62,424円（請負業者：高岡電工㈱）

■主な委託料

・清掃委託料　139,305円（請負業者：㈱三創、㈱橋本清掃ほか）

・警備委託料　147,096円（請負業者：セコム㈱加西営業所）

・電気設備管理委託料　172,800円（請負業者：橋本電気設備）

■主な備品購入費

・山小屋カーテン取替　214,942円（インテリアアオタ）

・インクジェットプリンター複合機　39,960円（㈲ふじおか）

■利用状況　（単位：円）

| 年度 | 施設利用者数（人） | 利用団体数 | 施設利用料 | 山小屋 | テント | テントサイト | 食器類 | 管理棟・多目的ホール | シャワー | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25年度 | 7,677 | 449 | 946,950 | 98,700 | 45,500 | 19,600 | 32,950 | 2,500 | 74,800 | 0 | 1,221,000 |
| 26年度 | 5,607 | 364 | 970,090 | 105,450 | 55,380 | 31,250 | 36,000 | 1,530 | 77,100 | 2,450 | 1,279,250 |
| 27年度 | 8,885 | 434 | 1,255,455 | 132,300 | 115,360 | 42,420 | 38,400 | 1,020 | 84,200 | 0 | 1,669,155 |

※利用者数について、25・26年度は実人数、27年度は延人数で集計しています。

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、一年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に年間を通して利用いただけるよう、恵まれた立地を生かした広報活動を行う必要があります。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 5,352,000 | 4,708,778 | | | 1,669,155 | 3,039,623 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 8.人権教育振興費 | 7,502,000円 | 7,151,023円 | 350,977円 |

急激な社会構造の変化により、人権問題も多様化・複雑化し、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、外国人等の問題に加えて、個人情報の流出、働く人の人権、地球環境と人権の問題等、新たな問題が生じています。

福崎町では、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表すことが文化として定着している社会をめざして、人権について一層理解を深めていただくために、家庭や学校、職場、地域において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる「男女共同参画社会」の実現をめざして「福崎町男女共同参画基本計画」を策定しました。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 人権教育振興事業【平成26年度からの繰越】 |
|---|---|
| 事業内容 | 男女共同参画社会基本法に基づき、「福崎町男女共同参画基本計画」を策定するにあたり、コンサルタントに業務支援委託を行い、住民意識調査を実施し、現状の把握を行いました。さらに、策定委員会を設置し、計画案について審議を重ね、計画策定及び製本を行いました。 |
| 成果 | ■福崎町男女共同参画に関する住民意識調査の実施<br>調査対象者：福崎町在住者を対象に20歳以上の1,500人<br>回収率：43.9%<br>■福崎町男女共同参画基本計画策定委員会<br>構　成：町内各種団体代表、公募住民　計９人<br>開催数：４回　第１回　平成27年８月27日（木）<br>第２回　平成27年11月12日（木）<br>第３回　平成28年１月28日（木）<br>第４回　平成28年３月10日（木）<br>□効果・達成度<br>策定にあたり、概ねスケジュールどおりに進めることができました。<br>□課題・改善<br>今後は、進捗管理を行い、本計画を着実に推進していく必要があります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,000,000 | 2,824,330 | 2,800,000 | | | 24,330 |

| 事業名 | 人権教育振興事業【平成 27 年度分】 |
| --- | --- |
| 事業内容 | 町民等の人権意識高揚を図るため、自治会単位研修会を開催しました。また、「人権文化を高める教育内容を創造しよう」をテーマとした研究大会に参加しました。<br>主な支出は、研修会の開催、研究大会への参加に係る費用及び各協議会等への負担金並びに自治会単位研修会、福崎町民主化推進協議会への補助金です。 |
| 成果 | ■研修会の開催及び研究大会・講演会への参加<br>・人権・青少年健全育成研修会<br>（区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修）<br>平成27年５月23日（土）　啓発ＤＶＤ視聴・講話　参加者：87人<br>・自治会単位人権・青少年健全育成研修会<br>32自治会が実施　　参加者：1,105人<br>・神崎郡人権教育研究大会<br>平成27年８月１日（土）　市川中学校<br>学校教員を主に企業の参加者により人権関係の研究課題を討議　参加者：88人<br>・神崎郡人権教育研究協議会　学校園所部会人権教育講演会<br>平成27年８月12日（水）　市川町文化センター　参加者：59人<br>講師：鳥取環境大学　教授　外川正明<br>演題：「同和教育が大切にしてきたこと～戦後同和教育の歴史に学ぶ～」 |

・兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会
平成27年８月23日（日）　姫路市民会館外　参加者：21人
・兵庫県人権教育研究大会中央大会
平成27年９月26日（土）　丹波市　県立柏原高等学校　参加者：８人
・福崎町民主化推進協議会指定人権教育実践発表会（公開授業・公開保育、全体会）
平成27年10月22日（木）　八千種小学校・八千種幼児園　参加者：108人
・神崎郡人権教育研究協議会指定人権教育実践発表会（公開授業、全体会）
平成27年11月７日（土）　市川中学校　参加者：14人
・西播磨地区人権教育研究協議会　学校園所人権教育総括大会
平成28年１月28日（木）　宍粟市立山崎東中学校他　参加者：７人
・神崎郡民主化推進連絡協議会人権啓発講演会
平成28年２月11日（木・祝）　神河町中央公民館グリンデルホール　参加者：41人
講師：写真家・ジャーナリスト　國森康弘
演題：「いのちつぐ『みとりびと』～被災地、紛争地、在宅看取りの現場から～」

成果

■負担金
・神崎郡人権教育研究協議会負担金　300,000円
・神崎郡民主化推進連絡協議会負担金　56,000 円
・（公財）人権教育啓発推進センター年会費　20,000 円

■補助金
・自治会単位研修会補助金　804,000 円
・福崎町民主化推進協議会運営補助金　450,000 円

□効果・達成度
自治会単位研修会では、正しく知ることが同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の解決につながるということを参加者の方に認識していただくことができました。
また、研究大会・講演会には、学校教員のほか、多くの方に参加いただき、人権意識の高揚を図ることができました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H27年度） |
|---|---|---|
| 自治会研修会への参加者数 | 1,300人 | 1,105人 |

□課題・改善
自治会単位研修会への参加者数が減少しています。研修会への参加者が固定化、少人数化しないよう、自治会長、人権教育推進委員と連携し、地域の実情に応じた研修会を開催します。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,903,000 | 1,819,327 | | | | 1,819,327 |

| 事業名 | 人権啓発事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する人権意識高揚のための啓発事業で、県の補助事業です。<br>人権・青少年健全育成フェスティバルに係る費用と人権啓発冊子作成が主な支出です。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル<br>平成27年12月5日（土）　福崎町エルデホール　参加者：約290人<br>・体験発表　　小中学生<br>・講演　　演題：「『かたり』の世界～戦後70年 語り継ぐ平和への想い～」<br>講師：タレント　山田雅人<br>・展示　　人権意識高揚活動記録、戦争関連資料<br>・人権啓発資材の配布（人権標語マグネットクリップ380個）<br>■人権啓発冊子<br>・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」　作成・全戸配布　6,500部　387,828円<br>・「元気ＵＰじんけん」　成人式配布　200部　20,000円<br>■啓発ＤＶＤの購入<br>・「ここから歩き始める」　64,800円<br>□効果・達成度<br>多くの方々の人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。<br>□課題・改善<br>多くの方々があらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会話のきっかけとなるよう、今後も継続してフェスティバルを開催します。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 979,000 | 976,520 | 325,000 | | | 651,520 |

| 事業名 | 人権意識高揚（心の教育）活動委託事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 児童・生徒一人一人が、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに、子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的として行った事業です。 |
| 成果 | 子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。<br>□効果・達成度<br>身近な人権課題解決のための学習や地域住民との交流等を通じて、子どもたちの「豊かな心と生きる力」を育むことができました。<br>□課題・改善<br>今後も適正に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,620,000 | 1,530,846 | | | | 1,530,846 |

１次評価：　A

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 9.辻川界隈文化振興費 | 49,461,000円 | 48,507,621円 | 953,379円 |

辻川界隈の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な事業としては、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅、辻川山公園の管理、辻川界隈の整備、第36回山桃忌の開催です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 歴史民俗資料館運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 歴史民俗資料館は、旧神崎郡役所の建物（県指定文化財）の保存・公開とともに、郷土神崎郡に関する資料を収集・保存し、一般に公開しています。<br>戦後70年の節目の年にあたる平成27年度は、戦争の記憶の継承に重点をおき、特別展や戦争を語る会を開催しました。教育普及活動では、ふくさき歴史体験隊活動、連続講座を実施しました。 |

成果

■展示活動

| 会期 | 名称 | 入館者数 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 4月18日～5月31日 | 企画展「拓本から知る福崎の歴史」 | 1,885人 | 展示点数 34点 |
| 7月25日～11月23日 | 特別展「戦後70年 福崎と戦争の記憶」 | 5,628人 | 展示点数 229点 |
| 3月5日～3月31日 | 企画展「マップをもって出かける文化財めぐり」 | 1,149人 | 展示点数 75点 |

■特別展「戦後70年 福崎と戦争の記憶」

戦時下の福崎地域の人々のくらしに焦点を当てた資料を展示し、戦争の悲惨さや平和の尊さを、次世代に継承する機会としました。

■講演会「語り継ぐ、戦争の記憶」　８月８日（土）　参加者：83 人

福崎町在住の３人の語り手に、戦争体験をご講演いただきました。講演内容は記録集にまとめ、学校・図書館等に配布しました。

■資料収集

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集しています。平成27年度は、戦争関連資料を精力的に収集しました。10人の方から戦争関連資料や民具等、118 点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

・ふくさき歴史体験隊　隊員数５人　保護者・地域ボランティア１人

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界隈ウォークラリーをはじめ、土器づくりや戦時食づくり等、ものづくりを通じて知識や経験を学び、指導者やボランティア等、さまざまな年齢層との交流を図ることができました。

・連続講座「人々の記憶と歴史文化遺産」

本講座では、地域の歴史文化遺産を再認識し、歴史文化への興味・関心を深めることができました。

成果

| 実施日 | 内　容　（演題） | 講　師 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| ５月16日(土) | 郷土の歌人　岸上大作 | 竹廣裕子 | 34人 |
| ７月４日(土) | 歴史文化遺産としての民俗文化<br>－生誕140年　柳田國男『故郷七十年』を読む－ | 大江　篤 | 36人 |
| ９月12日(土) | 災害と文化財～存在証明としての記録資料～ | 松下正和 | 18人 |
| 11月７日(土) | 民俗学と出会う<br>―柳田國男の生地・福崎町から― | 谷岡優子 | 33人 |
| ２月６日(土) | 日本の弦楽器と西洋の弦楽器<br>―実際の演奏を通じてその比較を試みる― | 大渡敏仁 | 58人 |

・古文書を読む会を２回行いました。３月５日（土）、３月６日（日）

■「ちょっと怖い　納涼コンサート」　７月18日（土）

出演：鶴澤友保、人形劇グループ「はっぴぃ」　参加者：41人

■文化財フォーラム　11月８日（日）開催、参加者：132人

■入館者数　13,768人（平成26年度12,949人、平成25年度7,078人）

□効果・達成度

特別展、戦争を語る会は、夏休み期間に実施したことで子どもたちの参加が多くあり、戦争の記憶を、世代を越えて継承することができました。戦時資料を間近で見たり、戦争体験者の話を聞いたりして考えたことをまとめた作品が、多数、柳田國男ふるさと賞に出品されました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,787,000 | 3,462,246 | | | 600,000 | 2,862,246 |

| 事業名 | 柳田國男・松岡家記念館管理事業【新規】 |
|---|---|

事業内容

柳田國男・松岡家記念館は、民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに、一般に公開しています。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設の環境改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用に継続して取り組みました。

成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しています。平成27年度は２人の方から、松岡静雄関係資料２点、書籍３冊を寄贈いただきました。

■松岡映丘画稿補修委託

委託料：157,788円（受託業者：㈱工房レストア）

作品３点　「山科の宿」(その3)、「山科の宿」(その4)、「菅原道真」

■記念館屋上防水改修工事

請負代金：6,012,360円（請負業者：進路工業㈱）

工　　期：平成27年８月４日～平成27年10月22日

■記念館男女トイレ洋式化工事

請負代金：　1,446,051円（請負業者：㈲城谷電気設備）

工　　期：平成28年１月29日～平成28年３月25日

| | |
|---|---|
| 成果 | ■記念館駐車場ネットフェンス修理工事<br>請負代金：248,400円（請負業者：播州道路施設㈱）<br>工　　期：平成28年３月14日～平成28年３月20日<br>■入館者数13,222人（平成26年度12,261人、平成25年度7,221人）<br>□効果・達成度<br>開館40年を経過し老朽化が進む中、施設修繕では屋上防水改修工事やトイレ洋式化工事を行い、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。<br>辻川山公園内の河童見学の相乗効果も高く、来館者は平成26年度に続き１万人を超えました。<br>□課題・改善<br>老朽化した施設の環境改善、展示を含めた施設リニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実を図ります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 11,481,000 | 11,308,373 | | | 100,000 | 11,208,373 |

| 事業名 | 柳田國男・松岡家記念館運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 柳田國男と松岡家の業績を顕彰するための事業を実施しました。<br>平成27年度に生誕155年を迎えた松岡鼎と生誕140年を迎えた柳田國男の記念事業として、第36回山桃忌、第２回柳田國男検定、記念展等を実施しました。教育普及活動では、伊勢大神楽や版画教室、講演会を開催しました。 |
| 成果 | ■第36回山桃忌<br>［１日目］８月１日（土）<br>「第１部　柳田國男の『故郷七十年』」参加者：272人<br>内容：山桃忌　式典<br>福崎に伝わる江州音頭　ふくさき盆踊り保存会<br>基調講演「柳田國男生誕140年『故郷七十年』を読み解く」<br>柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授　石井正己<br>記念講演「柳田國男と民族学」　国立民族学博物館長　須藤健一<br>シンポジウム「未来へ伝える『故郷七十年』～國男が託したメッセージ～」<br>コーディネーター：石井正己<br>パネリスト：天理大学教授　齊藤純<br>神戸医療福祉大学教授　足立泰紀<br>國學院大學栃木短期大学兼任講師　野村敬子<br>［２日目］８月２日（日）<br>「第２部　日本の郷土芸能　農村歌舞伎上演」参加者：256人<br>内容：「農村歌舞伎」解説<br>解説：柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授　石井正己<br>「寿式三番叟」「傾城阿波鳴門　巡礼歌の段」上演 |

成果

■第２回柳田國男検定（初級編、中級編）
実施日：８月２日（日）
受験者数：初級編52人、中級編49人　合格者数：初級編26人、中級編22人

■展示活動

| 会　期 | 名　　称 | 入館者数 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 4/18～5/31 | 企画展「松岡映丘画稿展～歴史に登場する人物～」 | 1,853人 | 展示点数　８点 |
| 7/25～11/23 | 記念展「松岡鼎展～柳田國男を導いた兄～」 | 5,385人 | 展示点数　157点 |
| 10/10～11/8 | 福崎町・遠野市友好都市交流企画展「柳田國男生誕の地 福崎町～『故郷七十年』にみる國男のふるさと～」 | 1,796人 | 展示点数　19点 |
| 10/31～11/15 | 福崎町・遠野市友好都市交流企画展「『遠野物語』と妖怪」 | 968人 | 展示点数　９点 |
| 10/10～11/23 | 「福崎町子どもふるさと展」 | 1,211人 | 展示点数　42点 |
| 3/5～3/31 | 企画展「柳田國男の『妖怪談義』～妖怪なぞとき話～」 | 1,151人 | 展示点数　18点 |

■記念展「松岡鼎展～柳田國男を導いた兄～」
本展では、福崎で教育者としてつとめた後、医学の道へと進み、さらに地方政治家としても活躍した鼎の功績を、遺された資料や写真で紹介しました。

■講演会
「松岡鼎～柳田國男を導いた兄～」　10月３日（土）講師：石井正己　参加者：37人
「民俗学と出会う－柳田國男の生地・福崎町から－」11月７日（土）講師：谷岡優子　参加者：33人

■教育普及活動
・伊勢大神楽　11月14日（土）出演：加藤菊太夫　参加者：24人
・岩田健三郎版画教室　12月６日（日）講師：岩田健三郎　参加者：49人

■第３回福崎町柳田國男ふるさと賞
柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。
・小学生低中学年の部
大塚みつき（田原小学校４年生）　作品名「福崎町と戦争」
・小学生高学年の部
小西風羽（高岡小学校６年生）　作品名「名字について」
・中学生の部
松下磨生（福崎西中学校１年生）作品名「僕の住む駅前地区の夏祭り～福崎駅前道分稲荷祭りについて～」

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞
平成27年度受賞作品
「災害格差を均衡化する仕組みとしての水利慣行－利根川下流域・布鎌地域における水害受容の論理－」金子祥之

■館報「うぶすな」発行（7,000部）

■記念展美術品輸送展示等業務委託
委託料：642,060円（受託業者：ヤマトロジスティクス㈱）

| | |
|---|---|
| 成果 | □効果・達成度<br>柳田國男生誕140年・松岡鼎生誕155年を展示や広報などで周知し、山桃忌にあわせて記念展を開催しました。柳田國男検定は、中級編を実施しました。福崎町・遠野市友好都市交流企画展では、遠野市立博物館において館蔵資料とパネルを展示しました。年間を通じて「柳田國男生誕の地　福崎町」を発信し、松岡五兄弟への理解を深める事業に取り組みました。<br>□課題・改善<br>柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できる分かりやすい催しや展示手法を引き続き研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 4,470,000 | 4,267,002 | | | 51,000 | 4,216,002 |

| 事業名 | 三木家住宅等管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 三木家住宅を活用していくため、臨時公開を行いました。また、植木の管理や屋内外の清掃等も行い、維持管理に努めました。 |
| 成果 | ■臨時公開<br>民俗辻広場まつり：平成27年４月25日（土）<br>その他：日本民俗学会の見学や辻川界隈観光ボランティアガイドの案内による各種団体の見学<br>■庭園植木等管理業務委託<br>委託料：178,200円（受託業者：植岡造園）<br>工　期：平成27年５月７日（木）～平成27年９月30日（水）<br>□効果・達成度<br>保存修理工事現場を臨時公開し、文化財保護意識を醸成することができました。<br>□課題・改善<br>引き続き積極的な活用に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 897,000 | 791,727 | | | | 791,727 |

| 事業名 | 辻川山公園管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 地元辻川区と共同で辻川山公園周辺の清掃活動を４回実施しました。<br>公園内の芝生と植木の管理を委託しました。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■地元区との共同清掃活動<br>第１回：平成27年４月18日（土）<br>第２回：平成27年６月13日（土）<br>第３回：平成27年８月29日（土）<br>第４回：平成27年10月24日（土）<br>■街路灯改修工事<br>請負代金：182,520円（請負業者：福崎電業㈱）<br>工　期：平成27年11月25日（水）～平成27年11月30日（月）<br>■芝植木等管理業務委託<br>委託料：345,600円（受託業者：植岡造園）<br>工　期：平成27年５月７日（木）～平成27年10月26日（月）<br>■借地料<br>福崎町西田原字西廣岡1033番他　390,570円<br>福崎町西田原字西廣岡1029番他　135,880円<br>□効果・達成度<br>辻川山公園周辺及び辻川山の環境美化と安全性向上に努め、良好な施設管理ができました。<br>□課題・改善<br>来訪者に快適に利用していただけるよう、引き続き良好な施設管理に努めます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,735,000 | 2,698,644 | | | | 2,698,644 |

| 事業名 | 辻川界隈文化振興事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 神戸大学大学院工学研究科との地域連携事業で、柳田國男が暮らした辻川界隈の町並み復元に取り組みました。ワークショップでは、辻川界隈に関する記憶や思い出が「記憶の旗」となって模型上に記録されました。<br>辻川界隈の整備活用について検討するため、辻川界隈検討委員会を開催しました。 |
| 成果 | ■辻川界隈検討委員会<br>第１回：平成27年９月15日（火）<br>視察研修：平成28年２月５日（金）　視察先：丹波市<br>■辻川界隈ジオラマ模型制作事業<br>委託先：神戸大学大学院工学研究科<br>事業費：816,097 円<br>事業期間：平成27年５月１日（金）～平成28年３月31日（木）<br>ワークショップ：平成27年８月８日（土）～12日（水）　延べ参加者数：125人<br>□効果・達成度<br>辻川界隈検討委員会では、学問成就の道を中心に、辻川界隈の整備活用について検討を進めました。辻川界隈ジオラマ模型制作事業では、柳田國男が生まれ育った時代から現在までの多くの記憶を模型に記録し、次世代へ継承することが可能となりました。<br>□課題・改善<br>三木家住宅や旧辻川郵便局等、辻川界隈の整備活用について、総合的に検討を進める必要があります。 |

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一 般 財 源 |
| 1,047,000 | 946,273 | | | | 946,273 |

| 事業名 | 辻川界隈整備事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 県のふるさとづくり推進費補助金を活用し、辻川地区まちなみ美化事業として、銀の馬車道周辺地域におけるまちなみの美化を図りました。<br>平成27年度は、「学問成就の道」の階段工整備を行い、文化ゾーンの集客力・美観を高めました。 |
| 成果 | ■学問成就の道整備工事<br>請負代金：15,005,520 円<br>請負業者：㈱セイトー<br>工　　期：平成28年１月６日（水）～平成28年３月25日（金）<br>□効果・達成度<br>ふるさとづくり推進費補助金を活用し、銀の馬車道周辺地域の施設の整備、景観整備を実施しました。「学問成就の道」の美観が高まり、来訪者も増加傾向にあります。「学問成就の道」整備により、松岡五兄弟の顕彰を進めることができました。<br>□課題・改善<br>平成 28 年度も引き続きふるさとづくり推進事業を活用し、辻川界隈の整備を進めます。 |

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一 般 財 源 |
| 15,006,000 | 15,005,520 | 7,500,000 | 6,700,000 | | 805,520 |

| １次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 10.文化財保護費 | 5,346,000円 | 4,593,352円 | 752,648円 |

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査です。

事業内容は次のとおりです。

| 事業名 | 文化財保護一般事務費 |
|---|---|
| 事業内容 | 町指定文化財保存継承事業助成金を無形文化財継承６団体に、古墳周辺整備事業助成金を古墳４基の管理者に交付しました。神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、福崎町の地域歴史遺産の掘り起こしに取り組みました。<br>また、文化財審議委員会を組織し、文化財行政について専門的な立場から審議していただきました。 |
| 成果<br>成果 | ■古墳周辺整備事業助成金：４古墳×10,000円＝40,000円<br>大塚古墳（山崎）・妙徳山古墳（神積寺）・相山古墳（西大貫）・神谷古墳（醫王寺）<br><br>■民俗文化財保存継承事業助成金：６保存会×30,000円＝180,000円<br>浄舞（熊野神社）・浄舞（余田大歳神社）・追儺（神積寺）・かくしほちょじ（鍛治屋）・法成就講（高橋）・獅子舞（桜）<br>■町指定文化財説明看板修理（相山古墳）<br>修繕料：18,900円（請負業者：イナガワ工芸）<br>■文化財審議委員会<br>第１回：平成27年12月18日（金）<br>□効果・達成度<br>文化財は、地域の人々が長い歴史の中で大事に守り伝えてきた貴重な財産で、いったん破壊されると復元は難しいものです。平成 27 年度も引き続き町内の地域歴史遺産を調査し、保存に努めました。<br>□めざそう値 |

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H27年度） |
|---|---|---|
| 文化財の指定件数 | 45件 | 44件 |

□課題・改善

広く住民に文化財の重要性を認識いただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,689,000 | 2,001,044 | | | | 2,001,044 |

| 事業名 | 埋蔵文化財発掘調査事業 |
|---|---|

**事業内容**

埋蔵文化財包蔵地内の開発に伴う確認調査を６か所（南田原条里遺構４か所、北野散布地１か所、観音堂遺跡１か所）で行いました。南田原条里遺構第27次調査では、ピット状遺構や、土師器片等の遺物が見つかりました。

遺物の整理作業を行い、発掘調査報告書（平成 24・25・26 年度調査分）を発行しました。

引き続き、東新田古墳から出土した鉄器類の保存処理を行いました。

**成果**

■埋蔵文化財調査報告書の発行

書　　名：福崎町埋蔵文化財発掘調査報告 14

発行部数：300 部

印 刷 代：449,280 円

■東新田古墳出土鉄器保存処理委託

委託料：582,120円（受託業者：㈱イビソク）

工　期：平成27年12月３日（木）～平成28年３月28日（月）

■分布・確認調査

| 調　査　名 | 時　代 | 種　類 | 現　状 | 調 査 期 間 | 調査面積 |
|---|---|---|---|---|---|
| 北野散布地第３次（宅地造成工事における確認調査） | 弥生～中世 | 散布地 | 水田 | 平成27年７月５日（１日） | ３か所 12㎡ |
| 南田原条里遺構第26次（個人住宅新築工事に伴う確認調査） | その他 | その他 | 宅地 | 平成27年８月６日（半日） | ２か所 ８㎡ |
| 南田原条里遺構第27次（個人住宅新築工事に伴う確認調査） | その他 | その他 | 宅地 | 平成27年９月14日（１日） | １か所 ７㎡ |
| 高岡福田地区ほ場整備事業に係る分布調査 | ― | ― | ― | 平成28年１月13日（半日） | 5,059㎡ |
| 南田原条里遺構第28次（個人住宅新築工事に伴う確認調査） | その他 | その他 | 宅地 | 平成28年１月22日（半日） | １か所 ２㎡ |
| 観音堂遺跡第１次（個人住宅新築工事に伴う確認調査） | 平安 | 散布地 | 畑地 | 平成28年３月８日（半日） | ２か所 12.5㎡ |
| 南田原条里遺構第29次（個人住宅新築工事に伴う確認調査） | その他 | その他 | 水田 | 平成28年３月14日（半日） | ２か所 ８㎡ |

□効果・達成度

発掘調査報告書を発行し、広く埋蔵文化財への認識を深めていただくことができました。

□課題・改善

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き保存処理・整理作業を進めます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一 般 財 源 |
| 2,657,000 | 2,592,308 | 1,830,000 | | | 762,308 |

| １次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.社会教育費 | 11.三木家住宅保存整備費 | 68,721,000円 | 68,563,373円 | 157,627円 |

県指定文化財三木家住宅の保存修理工事に要した経費です。

平成22年度から始まった保存修理工事は、兵庫県教育委員会から補助金を受け、１期工事として、平成23年度から主屋（表座敷）の修理を進め、平成27年度に完成しました。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 三木家住宅保存整備事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 主な支出は、工事の設計及び施工監理の委託費と工事費です。<br>主屋の保存修理工事は５年目となり、平成27年度は、木部（造作材）の加工組立、左官仕上げ、土間たたき、建具補修、樋の設置、下屋銅板葺、くど修理、コンセント・スイッチの設置等を実施し、主屋工事は完成しました。あわせて、北土塀の解体修理工事を実施、また、南土塀・表門の復元工事を進めました。 |
| 成果 | ■三木家住宅主屋保存修理工事設計監理業務委託<br>委 託 料：40,162,500円（平成27年度委託分：12,794,500円）<br>受託業者：神戸建築文化財研究所<br>工　　期：平成23年４月11日（月）～平成28年３月25日（金）<br>■三木家住宅北土塀保存修理工事設計監理業務委託<br>委 託 料：1,812,240円<br>受託業者：神戸建築文化財研究所<br>工　　期：平成27年４月８日（水）～平成28年３月25日（金）<br>■三木家住宅主屋保存修理工事<br>請負代金：168,396,000円（平成27年度請負分：42,383,000円）<br>請負業者：㈱神田組<br>工　　期：平成23年６月14日（火）～平成28年３月25日（金）<br>■三木家住宅北土塀保存修理工事<br>請負代金：11,441,000円<br>請負業者：㈱神田組<br>工　　期：平成27年11月６日（金）～平成28年３月25日（金）<br>□効果・達成度<br>三木家住宅は、辻川界隈のシンボル的存在であり、柳田國男との縁も深く、貴重な文化遺産です。保存修理工事は主屋工事が完成し、風格ある大庄屋遺構がよみがえりました。<br>□課題・改善<br>完成した主屋の公開に向けて準備を進めます。文化財としての価値・魅力を高めるとともに、地域の魅力づくりの中核的役割を果たす保存と活用をめざします。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 68,721,000 | 68,563,373 | 34,229,000 | 30,700,000 | | 3,634,373 |

１次評価：　B

⑸　保健体育費

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.保健体育費 | 1.保健体育総務費 | 21,953,000円 | 21,163,361円 | 789,639円 |

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力されている組織の活動費・助成金等です。その活動により、老若男女を問わず、また多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 保健体育総務一般事務費 |
|---|---|
| 事業内容 | スポーツ推進委員10人に係る報酬、社会体育全般にわたる事務事業推進のために要した経費です。スポーツ推進委員・普及員が中心となり、町民対象のスポーツ大会等を企画・運営し、生涯スポーツ全般の普及発展を図りました。<br>また、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。 |

成果

■スポーツ推進委員会を年４回開き、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関しての審議を行いました。

・スポーツ推進委員会　第１回　平成27年４月14日(火)
　第２回　平成27年８月７日(金)
　第３回　平成27年11月４日(水)
　第４回　平成28年１月20日(水)
・中播磨スポーツ推進委員研究協議会　平成27年６月21日(日)　神河町
・兵庫県スポーツ推進委員研究協議会　平成27年10月25日(日)　姫路市
・近畿スポーツ推進委員研究協議会　平成28年２月５日(金)～６日(土)　姫路市

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人２人を表彰しました。

【受賞者一覧】

| 氏名 | 所属 | 内容 | 成績 |
|---|---|---|---|
| 後藤美帝 | 福崎小学校<br>６年生 | 第31回全国小学校陸上競技交流大会<br>兵庫予選 | 共通女子ソフトボール投げ<br>優勝 |
| 中農　翔 | 香寺高等学校<br>３年生 | 第70回国民体育大会<br>（紀の国わかやま国体） | ウエイトリフティング77kg級<br>第５位 |

□効果・達成度

スポーツ推進委員の資質向上・社会体育活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に大きく成果をあげています。

多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになっています。

□課題・改善

健康分野において、推進委員個々の能力を生かし活動を広めていきます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 1,131,000 | 822,238 | | | | 822,238 |

| 事業名 | 町体育協会等育成事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 福崎町体育協会の運営及び体育協会加盟団体（17 団体）の活動と福崎町スポーツ少年団に対し、財政的な補助を行いました。体育協会では、秋まつり協賛事業で子ども向けゲーム（LINE で碁！）、グラウンドゴルフ大会を企画・運営しました。 |

成果

体育協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■平成 27 年度　福崎町体育協会加盟団体一覧　　H28. 3.31 現在

| 団体名 | 会長名 | 会員数（人） | 団体名 | 会長名 | 会員数（人） |
|---|---|---|---|---|---|
| スキー協会 | 安井利夫 | 37 | 卓球協会 | 髙松繁樹 | 18 |
| 庭球協会 | 佐伯武彦 | 21 | 野球協会 | 中塚幹男 | 64 |
| ゲートボール協会 | 上野昭郎 | 22 | バレーボール協会 | 能瀬　林 | 24 |
| 陸上競技協会 | 岩﨑文治 | 27 | 水泳協会 | 三輪和幸 | 25 |
| 少林寺拳法協会 | 生田久人 | 20 | 山の会協会 | 内藤　守 | 76 |
| 柔道協会 | 難波弘一 | 40 | ソフトボール協会 | 和田英男 | 286 |
| 合氣道協会 | 羽室研二 | 232 | グラウンドゴルフ協会 | 旭　義春 | 226 |
| ソフトバレーボール協会 | 米田　泉 | 65 | ゴルフ協会 | 北山孝彦 | 8 |
| 剣道協会 | 上田亮一 | 28 | 合計 | | 1,219 |

■平成27年度　福崎町体育協会決算書

| 歳入 | | | 歳出 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 金額（円） | 備考 | 項目 | 金額（円） | 備考 |
| 会費 | 34,000 | 加盟協会から @2,000×17 | 事業費 | 1,831,851 | 加盟協会助成金 大会賞品等 |
| 補助金 | 1,744,000 | 町補助金 | 事務費 | 24,776 | 事務用品他 |
| 繰越金 | 619,084 | 前年度繰越 | 基金費 | 300,000 | 50周年記念事業積立基金 |
| 事業収入 | 41,900 | 大会参加料 | | | |
| 雑入 | 107 | 利息・戻入 | 予備費 | 0 | |
| 合計 | 2,439,091 | | 合計 | 2,156,627 | |

歳入歳出差引額　282,464円（平成28年度へ繰越）

■平成27年度　福崎町スポーツ少年団決算書

| 歳入 | | | 歳出 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 金額（円） | 備考 | 項目 | 金額（円） | 備考 |
| 会費 | 71,400 | 加盟団から @1,000×70 @700×２ | 登録費 | 64,200 | 県登録料他 |
| | | | 事業費 | 60,000 | 大会補助金 |
| | | | 事務費 | 2,052 | 郵便料他 |
| 補助金 | 50,000 | 町補助金 | 会議費 | 0 | 賄代 |
| 繰越金 | 4,902 | 前年度繰越金 | 慶弔費 | 0 | |
| 雑入 | 14 | 利息 | 予備費 | 0 | |
| 合計 | 126,316 | | 合計 | 126,252 | |

歳入歳出差引額　64 円（平成 28 年度へ繰越）

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む17協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しています。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 1,794,000 | 1,794,000 | | | | 1,794,000 |

| 事業名 | 子ども会運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 子どもたちの福祉増進のため、町内子ども会相互の連携と活動の充実を図り、各種行事に取り組みました。主な行事としては、子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会・郡球技大会を実施しました。<br>また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、郡オセロ大会・町少年少女将棋大会を開催しました。 |

成果

■町球技大会の結果：平成27年６月27日（土）　場所　福崎小学校

| 部門 | 優勝 | 準優勝 | ３位 |
|---|---|---|---|
| ソフトボール | 高岡 | 西治・西谷 | 福田 |
| バレーボール | 板坂･桜 | 山崎 | 中島 |

優勝、準優勝チームは平成27年７月19日（日）に福崎町で開催された神崎郡子ども会球技大会に出場し、ソフトボールの部において高岡子ども会が優勝、バレーボールの部において板坂･桜子ども会が優勝、山崎子ども会が準優勝に輝く活躍を見せました。

■神崎郡オセロ大会：平成27年９月６日(日)　場所：福崎町文化センター

参加者（福崎町からの参加者）

| | |
|---|---|
| 小学校低学年の部 | 22人 |
| 小学校高学年の部 | 17人 |

■町少年少女将棋大会：平成27年12月６日（日）　場所：福崎町文化センター

参加者

| | |
|---|---|
| 小学校低学年の部 | 10人 |
| 小学校高学年の部 | ６人 |

□効果・達成度

各種行事を通して、子どもたちの身体的・精神的な向上を図るとともに、子ども・保護者ともに地域での交流を促進することができました。

□課題・改善

町の将棋大会の参加者を増やすため、地域人材を活用した将棋の普及や広報活動により一層努めます。また、球技大会練習時のケガを少なくするために安全教育を進めます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 2,060,000 | 1,850,493 | | | | 1,850,493 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.保健体育費 | 2.給食運営費 | 203,897,000 円 | 203,678,361 円 | 218,639 円 |

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、給食をみんなで一緒に楽しく「食べる」体験を通じて望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てる場となり、心身ともに成長期にある児童・生徒の健康の保持増進と体位の向上に大きな役割を担っています。

一方、児童・生徒の食生活をとりまく社会環境の大きな変化により、偏った栄養摂取、肥満等の生活習慣病の増加など、食に起因する様々な問題が発生しています。給食センターでは、「福崎町食育推進計画」に基づき、栄養のバランスのとれた給食を提供することで、福崎町の将来を担う子どもたちの健康を守るとともに、学校給食を生きた教材として活用した食育推進に取り組みました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 給食センター管理事業 |
|---|---|

**事業内容**

平成27年度においても、各作業場に設置した６台のテレビカメラシステムを活用し、調理現場における安全衛生管理を行いました。また、カメラで記録された調理作業や洗浄作業の様子は、園児や小学生の施設見学時や各種団体の試食会の際にテレビ画面で再生し、福崎町の安全安心な給食づくりの実態を広くＰＲしました。

給食の試食会については、19回（延人数324人）受け入れました。施設見学については、13団体（延人数448人）を受け入れました。また、12年が経過したボイラー機は、経年劣化も進み修繕部分も増えて、業務に支障をきたすため更新しました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、効率よく徴収率の向上を図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、現年度給食費の滞納額の減少に努めました。

**成果**

■収入状況　（単位：円）

| 年度 | 区分 | 調定額 | 収納額 | 不納欠損額 | 滞納額 | 徴収率(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 27 | 現年度 | 92,809,740 | 92,746,784 | 0 | 62,956 | 99.9 |
| | 過年度 | 1,611,815 | 310,477 | 91,538 | 1,209,800 | 19.3 |
| | 計 | 94,421,555 | 93,057,261 | 91,538 | 1,272,756 | 98.6 |
| 26 | 現年度 | 91,348,173 | 91,340,173 | 0 | 8,000 | 100.0 |
| | 過年度 | 2,019,379 | 390,564 | 25,000 | 1,603,815 | 19.3 |
| | 計 | 93,367,552 | 91,730,737 | 25,000 | 1,611,815 | 98.2 |

「福崎町債権管理条例」に基づき、速やかな滞納整理事務を進め、滞納額のうち、生活困窮及び時効により２件の不納欠損処分（91,538円）を行いました。

■支出状況

平成15年６月から供用開始した、給食センターの厨房機器等も耐用年数の経過で消耗部品に不具合が生じ、給食センター管理事業での修繕料を4,008,791円支出しました。その主なものは、洗浄室系統空調機ガス漏れ修理一式594,000円、プレハブ冷凍庫修理一式485,136円です。また、12年を経過するボイラー機の不具合も生じ、６年間リース契約により入替工事を行いました。

成果

■学校給食費　調定額及び収入状況　（H28. 5.31 現在）　（単位:円）

| 学校または施設名 | 調定額 | | 収入済額 | | 不納欠損額 | | 収入未済額 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 現年度 | 過年度 | 現年度 | 過年度 | 現年度 | 過年度 | 現年度 | 過年度 |
| 福崎小 | 19,869,920 | 546,140 | 19,854,164 | 177,832 | 0 | 12,000 | 15,756 | 356,308 |
| 高岡小 | 3,704,792 | 8,000 | 3,668,792 | 8,000 | 0 | 0 | 36,000 | 0 |
| 田原小 | 22,912,044 | 403,513 | 22,912,044 | 32,725 | 0 | 0 | 0 | 370,788 |
| 八千種小 | 7,798,832 | 0 | 7,798,832 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 54,285,588 | 957,653 | 54,233,832 | 218,557 | 0 | 12,000 | 51,756 | 727,096 |
| 西中 | 13,202,792 | 546,915 | 13,202,792 | 52,891 | 0 | 79,538 | 0 | 414,486 |
| 東中 | 17,936,416 | 79,567 | 17,936,416 | 39,029 | 0 | 0 | 0 | 40,538 |
| 計 | 31,139,208 | 626,482 | 31,139,208 | 91,920 | 0 | 79,538 | 0 | 455,024 |
| 福崎幼 | 1,878,750 | 0 | 1,867,550 | 0 | 0 | 0 | 11,200 | 0 |
| 高岡幼 | 330,200 | 0 | 330,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 田原幼 | 2,198,100 | 27,680 | 2,198,100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27,680 |
| 八千種幼 | 1,199,500 | 0 | 1,199,500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 5,606,550 | 27,680 | 5,595,350 | 0 | 0 | 0 | 11,200 | 27,680 |
| 給食センター職員 | 538,494 | 0 | 538,494 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 私立こども園 | 1,239,900 | 0 | 1,239,900 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 1,778,394 | 0 | 1,778,394 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 92,809,740 | 1,611,815 | 92,746,784 | 310,477 | 0 | 91,538 | 62,956 | 1,209,800 |

□効果・達成度

町広報の食育通信や給食だより等でＰＲし、見学受け入れを呼びかけることにより、町内全認定こども園からの見学がありました。見学を通じて、給食センターで働く人々に感謝し、好き嫌いせず・残さず食べるように意識付けができました。行政、学校、ＰＴＡ等関係機関の連携と協力により現年度給食費の目標徴収率 99.9%が達成できました。

□課題・改善

今後、過年度滞納分の給食費についても徴収体制の確立・臨戸訪問強化を行い、徴収率の向上につなげていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 17,519,000 | 17,323,788 | | | | 17,323,788 |

| 事業名 | 給食センター給食事業 |
|---|---|

事業内容

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に県内産食材を優先して使用し、歳時記に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町食育推進計画」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れ

事業内容

ました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ麺やもちむぎ精麦を使用した献立を積極的に取り入れ、業者との連携により、もちむぎ粉を使用した「ゆずジャムタルト」のデザートや地元産さつまいもを使用した「さつまいもコロッケ」の開発にも取り組み、給食に提供しました。そうした福崎町の給食をＰＲするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝え、町民対象の給食試食会を学期に１回、年３回実施し広く町民にもＰＲしました。

一日平均給食供給人員 2,560 人に対して、小学校年間 180 日、中学校年間 177 日、認定こども園（１号認定）年間 168 日、認定こども園（２号・３号認定）年間 269 日の給食を提供しました。給食のべ人員は、488,006 人でした。

成果

■給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で 93,600,079 円です。

給食原材料費内訳　　（単位：円）

| | 金　　額 |
|---|---|
| 副　食　費 | 57,328,940 |
| 米　飯　代 | 15,848,240 |
| パ　ン　代 | 3,469,233 |
| 牛　乳　代 | 16,953,666 |
| 計 | 93,600,079 |

■地産地消の取り組み

・「福崎町食育推進計画」の中の「地産地消と食文化の継承」に基づき、給食センターでは、平成 27 年度の地元野菜目標使用率（重量ベース）を 20%と定め、農林振興課と連携し、生産者の協力を得ながら地産地消に取り組みました。全体使用量から見ると 17.7%で目標には及びませんでしたが、平成 26 年度より使用量も増え 1.5%アップしました。福崎町産の米、もちむぎ粉、もちむぎ精麦を加えると、給食における地産地消率は 40.7%となり、平成 26 年度よりも 2.7%増えました。また、７月には「福崎町産夏野菜カレー」、12 月には「福崎町産冬野菜シチュー」を実施し、福崎町産の野菜を中心に使用した給食で地産地消をＰＲしました。

全体野菜使用量 56,778kg のうち、地場産野菜使用量は 10,071kg でした。（使用率＝17.7%）その主な野菜は、たまねぎ 4,211kg、にんじん 1,839kg、じゃがいも 1,503kg、さつまいも 570kg、大根 665kg、白菜 690kg です。

・福崎町特産「もち麦」の利用促進については、週 1 回のパン給食の日には、もちむぎ粉を 10%ブレンドした「もちむぎコッペパン」、週 4 回のご飯給食の日のうち、毎週水曜日には、もちむぎ精麦を８%ブレンドした「もちむぎご飯」を提供しました。また、汁物に「かやくもちむぎ麺」を取り入れる回数を増やしたり、毎年リクエストが多く好評である「冷やしもちむぎ麺給食」を運動会シーズンに実施して、もち麦の使用を増やしました。

□効果・達成度

給食にもち麦を積極的に取り入れることで児童・生徒にもち麦に親しみをもってもらうことができ、給食だより等でもち麦の良さを広く情報発信することにより、家庭でももち麦を広く活用してもらえるようＰＲできました。

□課題・改善

地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やし、野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成し、地元野菜を使用した商品開発にも積極的に取り組み、給食に福崎町産の野菜の取り入れを増やす努力をしていきます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一 般 財 源 |
| 121,749,000 | 121,731,630 | | | 93,057,261 | 28,674,369 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.保健体育費 | 3.町民グランド管理費 | 12,556,000円 | 12,338,259円 | 217,741円 |

町民グランドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されています。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 町民第１，第２グランド管理事業【事業名称変更】 |
|---|---|
| 事業内容 | 町民第１，第２グランドの施設管理に係る費用で、夜間照明の電気代、草刈り等賃金、清掃及び電気管理委託料、施設の修繕等に要した経費です。 |
| 成果 | ■施設修繕工事を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。<br>・第１グランドナイター照明灯安定器取替工事　429,840円（請負業者：高岡電工㈱）<br>・第１グランドナイター水銀灯ランプ取替工事　147,150円（請負業者：高岡電工㈱）<br>・第１グランドフラッグポール修繕工事　170,100円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）<br>■施設を安全に使用するために、点検・掃除等の委託を行いました。<br>・清掃委託料　173,768円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）<br>・電気設備管理委託料　77,600円（請負業者：小國電気設備管理事務所）<br>□効果・達成度<br>第１グランドでは、照明灯安定器の取替えを行い、より快適に夜間のスポーツ活動を行える環境を整備しました。第２グランドでは、グラウンドゴルフを中心に多くの利用がありました。なお、平成27年度社会体育施設(町民グランド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、120,038人でした。<br>□課題・改善<br>第１グランドは、表層部の真土が雨による流出や飛散により、傷みが目立ってきました。また、雨天時には水はけが悪く、使用が制限されることもあるため、利用者がより安全で快適に利用できるよう全面的な土の入れ替え、整備の必要があります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,697,000 | 3,632,253 | | | 544,240 | 3,088,013 |

| 事業名 | スポーツ公園管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | スポーツ公園の施設管理に係る費用で、電気代、各種委託料（清掃、警備、電気設備及び芝生管理）、施設修繕等に要した経費です。 |
| | ■施設修繕工事を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。<br>・スコアボード取替工事　264,600円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）<br>・テニスコート補修修繕工事　386,856円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）<br>・テニスコート防風ネット取替工事　163,350円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）<br>■施設器具修繕を行い、より快適にスポーツ活動ができる環境を整えました。<br>・時計照明灯取替費　39,960円（請負業者：福崎電業㈱） |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■施設を安全に使用するために、点検・掃除等の委託を行いました。<br>・警備委託料　294,192円（請負業者：セコム㈱加西営業所）<br>・芝生管理委託料　594,000円（請負業者：中塚造園土木）<br>・電気設備管理委託料　169,380円（請負業者：(一財)関西電気保安協会）<br>・清掃委託料　32,400円（請負業者：㈲カワバタ商会）<br>□効果・達成度<br>多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せてコミュニティの育成に貢献することができました。<br>□課題・改善<br>ゲートボール場が調整池となっているためにゲリラ豪雨や台風時には土砂が流れ込み、維持に負担がかかります。今後のゲートボール場の活用方法及び改修について考える余地があります。年数経過によるテニスコートの劣化が進行し、長期的な計画のもと大規模な改修を実施する必要があります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 4,714,000 | 4,677,436 | | | 1,454,650 | 3,222,786 |

| 事業名 | 町民第３グランド管理事業【新規】 |
|---|---|
| 事業内容 | 町民第３グランド（さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場）の施設管理に係る費用で、電気代、各種委託料（清掃、警備、電気設備管理）、施設修繕等に要した経費です。 |
| 成果 | ■施設修繕工事を行い、安全に子どもたちが活動できる場を提供しました。<br>・遊具広場側溝溝蓋設置工事　275,400円（請負業者：尾上組㈲）<br>■施設を安全に使用するために、点検・掃除等の委託を行いました。<br>・警備委託料　234,576円（請負業者：セコム㈱加西営業所）<br>・電気設備管理委託料　106,000円（請負業者：小國電気設備管理事務所）<br>・清掃委託料　278,200円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）<br>□効果・達成度<br>幅広い世代が活動できる複合施設のため、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せてコミュニティの育成に貢献することができました。 |
| 成果 | □課題・改善<br>さるびあドームは風通しが良く、冬季には非常に寒く、活動しにくいため、防風対策を検討します。また、ドーム内グランドは土質が柔らかく、締りが悪いため、効率的な整備方法を研究します。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,491,000 | 3,374,810 | | | 792,500 | 2,582,310 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.保健体育費 | 4.学校施設社会開放費 | 1,112,000円 | 1,080,791円 | 31,209円 |

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 学校施設社会開放事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 町内の小・中学校の運動施設（体育館・グランド）の積極的な開放を行い、地域住民のスポーツ振興に努めました。<br>主な支出は、学校施設開放に係る電気代、水道代、備品購入費です。 |

成果

■学校施設社会開放　学校別集計表

| | | 福崎小 | 高岡小 | 田原小 | 八千種小 | 西　中 | 東　中 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 体育館 | 使用回数（回） | 421 | 260 | 14 | 398 | 173 | 394 | 1,660 |
| | 使用人数（人） | 11,991 | 6,520 | 350 | 11,059 | 3,393 | 14,751 | 48,064 |
| | 使用料（円） | 82,400 | 14,840 | 0 | 180,530 | 178,080 | 14,310 | 470,160 |
| グランド | 使用回数（回） | 159 | 194 | 32 | 344 | 2 | 10 | 741 |
| | 使用人数（人） | 8,037 | 4,570 | 4,214 | 12,729 | 600 | 2,695 | 32,845 |
| | 使用料（円） | 0 | 0 | 4,240 | 237,190 | 2,120 | 8,480 | 252,030 |

■備品購入

・八千種小学校グランド内倉庫新規購入　254,880円（請負業者：高岡電工㈱）

※撤去費用も含んでいます。

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習の活動の場と機会を提供しました。スポーツクラブ４団体や子ども会のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

また、田原小学校体育館建設工事期間中は学校施設の開放事業を効率よく行い、地域住民のスポーツ振興に努めることができました。

□課題・改善

授業等に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,112,000 | 1,080,791 | | | 722,190 | 358,601 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 繰越明許費 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 5.保健体育費 | 5.体育館運営費 | 184,566,000円 | 104,737,760円 | 77,000,000円 | 2,828,240円 |

社会体育の拠点となり、生涯スポーツを中心として、各年代層にあったスポーツを選択できるよう、年間を通じて様々な教室・大会を開催しました。また、キャンプ等をとおして青少年の健全育成に努め、成人の体力づくりはもちろんのこと、人と人の交流を深める場として日常生活の中にスポーツを取り入れられるよう努めました。

第１体育館耐震改修工事に係る実施設計業務委託を行いました。また、体育館東側の文化ゾーン駐車場整備に伴う土地を購入し、整備工事費については繰越明許費として翌年度に繰り越しました。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 町民体育館管理事業【平成26年度からの繰越】 |
|---|---|
| 事業内容 | 周辺施設利用者用の文化ゾーン駐車場として整備するため、体育館東側土地の購入に要した経費です。 |
| 成果 | ■文化ゾーン駐車場整備に係る土地を購入しました。<br>・文化ゾーン駐車場土地購入費　91,188,220円（現年：29,220円を含む。）<br>□効果・達成度<br>各施設における各種イベント・各種大会等での駐車場不足問題を解消するため体育館東側土地を購入しました。<br>□課題・改善<br>各施設利用者が安全で快適に利用できる駐車場整備を行います。また防災倉庫を設置し、非常時の備蓄倉庫としての役割を担います。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 91,160,000 | 91,159,000 | | 91,100,000 | | 59,000 |

| 事業名 | 町民体育館管理事業【平成27年度分】 |
|---|---|
| 事業内容 | 第１体育館耐震改修工事に伴う設計委託、スポーツ振興・体力づくりのために開催しているスポーツ大会・教室の運営に要した経費、スポーツする場を提供するための施設・器具の修繕・点検、体育備品の購入に要した経費です。主な支出は、アルバイト事務賃金、各種謝礼、電気代、各種委託料、体育備品購入、体育施設・器具の修繕等です。 |

成果

■第１体育館耐震改修工事に係る実施設計委託を行いました。

・第１体育館耐震改修工事実施設計委託料　　7,020,000円（請負業者：㈱加藤建築事務所）

■器具を安全・快適に使用できるように修理を行いました。

・トレーニング器具（トレッドミル）修繕　　246,240円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）

・トレーニング器具ワイヤー交換　　39,960円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）

（単位：人）

| 年度 | 球技室 | 体育室 | 卓球室 | ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室 | 第２体育館 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 25年度 | 10,856 | 5,893 | 4,043 | 7,218 | 6,619 | 34,629 |
| 26年度 | 12,723 | 6,109 | 4,008 | 8,845 | 8,175 | 39,860 |
| 27年度 | 13,253 | 5,753 | 4,999 | 11,042 | 8,139 | 43,186 |

■掲示板・デジタルカメラ等を新しく購入し、施設管理・行事活動の充実に努めました。

・曜日別掲示板　　248,184円

・デジタルカメラ　　32,400円

・金庫　　41,364 円

■各種大会を開催し、町民の健康づくり・コミュニケーションづくりに貢献しました。

| 大会名 | 期日 | 場所 | 対象 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| さるびあドーム完成記念スポーツフェスティバル | 4/19 | 第３グランド | 誰でも可 | 約1,000人 |
| 町民親善ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ大会 | 5/9 | 第３グランド | 誰でも可 | 48ﾁｰﾑ |
| 山菜ハイキング | 5/23 | 鉢伏高原 | 誰でも可 | 47人 |
| カヌー教室 | 7/5 | 野外活動ｾﾝﾀｰ | 町内小学4年生～一般 | 27人 |
| ふれあいワンデー生活塾 | 7/20 | 野外活動ｾﾝﾀｰ | 町内小学1～3年生 | 58人 |
| アウトドア生活塾 | 7/25～26 | 野外活動ｾﾝﾀｰ | 町内小学4～6年生 | 25人 |
| カヌー教室 | 8/9 | 野外活動ｾﾝﾀｰ | 町内小学4年生～一般 | 20人 |
| 自治会親善ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ大会 | 8/17～22 | 第１グランド他 | 自治会でﾁｰﾑを編成 | 31ﾁｰﾑ |
| 地域職域ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ大会 | 11/15 | 第１グランド他 | 町内在住在勤者 | 12ﾁｰﾑ |
| 子ども遊びフェスティバル！ | 28/1/23 | 第１体育館 | 町内幼児園児以上及び保護者 | 約100人 |

■スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

| 講習会名 | 期日 | 場所 | 対象 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 健康ピンポン講習会 | 11/25・12/2・9・16 | 第１体育館卓球室 | 誰でも可 | 22人 |

■健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

| 教室名 | 対象 | 曜日 | 時間 | １期 | ２期 | ３期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| リフレッシュ体操 | 一般女性 | 火曜日 | 10:00～11:45 | 36人 | 36人 | 32人 |
| 貯筋クラブ | 65歳以上 | 水曜日 | 9:30～11:00 | 17人 | 19人 | 20人 |
| 朝のフィットネス教室 | 誰でも可 | 水曜日 | 10:15～11:45 | 17人 | 17人 | 20人 |
| 夜のフィットネス教室 | 誰でも可 | 木曜日 | 18:00～19:30 | 18人 | 17人 | 17人 |
| 健康ソフトバレー教室 | 一般女性 | 金曜日 | 10:00～11:45 | 26人 | 28人 | 25人 |
| にこにこスポーツ教室 | 誰でも可 | 木曜日 | 13:30～15:00 | 12人 | | |
| いきいき教室 | 誰でも可 | 火曜日 | 13:30～15:00 | 18人 | | |
| ﾎﾟｰﾙｳｫｰｷﾝｸﾞ教室 | 誰でも可 | 木曜日 | 10:00～11:30 | 42 人 | | |

| | |
|---|---|
| 成果 | □効果・達成度<br>　行事や教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができました。また新たなスポーツ講習会を増やすことで、より多くの住民にスポーツ活動の楽しさを周知できました。<br>□課題・改善<br>　行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。トレーニング室利用者が増加傾向であるのに対し、トレーニング器具の不足や劣化が進行しています。器具の更新等を検討します。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 92,904,000 | 13,276,760 | | 7,000,000 | 2,076,230 | 4,200,530 |

| 事業名 | 地域スポーツ奨励事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 　地域の健康づくり、コミュニケーションづくりのために各自治会で行う運動会や各種スポーツイベントの運営に係る費用の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及び県主催大会の出場に要する経費です。 |
| 成果 | ■スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。<br>・福崎小学校へ　60,000 円<br>・田原小学校へ　60,000 円<br>・高岡小学校へ　36,000 円<br>・八千種小学校へ　60,000 円<br>・福崎東中学校へ　36,000 円<br>■スポーツクラブ連合補助金を支給しました。<br>・スポーツクラブ連合補助金　50,000 円<br>□効果・達成度<br>　スポーツクラブへ支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。<br>□課題・改善<br>　スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 502,000 | 302,000 | | | | 302,000 |

# Ⅳ　学識経験者の意見

（１） 就学前の子育て支援事業

①認定こども園の整備が完成し、充実した子育て環境が整ったことは大変喜ばしいことです。今後も引き続き環境整備に努めていただけることを期待します。

②４校区の認定こども園ごとの保育目標により、快適で安全な運営が行われていることは評価できます。

③保育教諭の確保について、現時点の人員充足だけでなく、将来を見据えた取組みの実施をお願いします。

④幼児園の保育教諭は、０歳から５歳児までの年齢差のある幼児を預かるので、人数の確保や仕事内容などの待遇改善を望みます。

⑤八千種保育所跡地が整備され、駐車場になりましたが、普段は閉まっていて使えません。八千種研修センターで町ぐるみ健診があるときは開けてほしいです。

⑥延長保育や一時預かり事業の実施により、保護者のニーズに対応できていることは評価できます。今後も引き続き利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでほしいと考えます。

⑦子育て支援センターでののべ利用者数は、子どもの人数が減っていく中、よく利用されているのではと思います。

⑧園児送迎バスについては、利用者数が減っているとはいえ運行の必要性は高く、利便性を確保しつつ必要とされている家庭がある限り継続していただければと思います。

⑨学童保育や放課後子ども教室事業については、限られた時間の中ではありますが、今の児童の現況に合った新たな取組みを模索することも必要かもしれません。

⑩平日のみならず土曜日も開園されている学童保育園は、留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保がなされ、評価できます。学童保育園の開設時間の延長等、働く保護者の希望を取り入れることを期待します。

⑪学童保育園の指導者にも保育教諭の待遇改善と同じことを望みます。

⑫各所において手厚い子育て支援事業を展開しており、多数の参加者を得ていることは非常に高く評価できます。

⑬若い保護者の子育てを支援する事業は、単に子育てを支援するだけでなく、女性の社会進出を支援することでもあり、女性の活躍できる機会を増やし、女性の活力が地域に反映されることにも繋がります。子どもの安全・安心の確保、その子育てに対する安心感が若い保護者層の流出を防ぎ、流入を促進することにもなり、町の活気にも関わってくる大切な事業と考えます。

⑭子どもの保護・健全育成のためには、医療機関との連携をより強化すべきと考えます。

⑮「子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況についての確認のため、「子ども・子育て会議」において審議し、点検・見直しすることは大切なことであり、評価できます。（年度初めと年度末の２回開催してはどうか。）

（２） 教育委員会関係事業

①今後とも、現状どおり適切な支援に務められることを望みます。

②不登校指導員、学習支援員の配置は、児童生徒の問題解決に、早期対応やきめ細かな対応がなされ、評価できます。

③学校教育をサポートする体制の一つに社会体育との連携強化があると考えます。特に中学校では部活動が生徒・教師双方に大きな負担となっている面も否定できません。双方がもう少し余裕を持って取り組める体制づくりが必要と考えます。平日のノー部活デーが必要とされる中、土日を含めた社会体育との連携強化を望みます。

④子ども・教職員の健康保持に各種検診を実施されていますが、心の病気にもより一層気を配ってほしいです。

（３） 学校関係事業

①前年度に続き、全国学力・学習状況調査の結果は、小・中学校とも、すべての分野で全国平均を上回っており、きめ細かな指導がなされた成果であると思います。

②児童生徒の科学に対する興味や関心を高めるためには、学校において理科教材に親しむことが重要です。その整備については、今後今以上に重点的に取り組む価値のあるものではないでしょうか。

③田原小学校体育館の完成により、安心安全な設備の整った災害時避難所ができてよかったと思います。

④田原小学校体育館が無事に竣工されました。授業や課外活動、地域活動がさらに活発になることを願っております。次年度以降、活動の内容を再評価することが必要になるかと思われます。

⑤安全確保のための施設補修や教育環境の整備については、次年度以降も着実に進めていくことを望みます。

⑥設備費に維持管理費・電気料金、大きな出費となることは解っていますが、エアコンの整備は必要不可欠であると考えます。近年の急激な温暖化の進行は、夏の学習環境を悪化させ、熱中症になる子どもが増加することで、今後夏季の学習活動をますます制限することになることは容易に推測できます。是非ともエアコンは贅沢品ではなく、必需品であると考えていただき、整備を望みます。学校教育への投資は福崎町の未来への投資であると思います。

⑦小・中学校のトイレ洋式化工事を引き続き進められることを望みます。

⑧運動会で１人の子を無視しているのを見かけました。同じ小学校の卒業生なのに、声をかけても無視されているのを見て胸が痛みました。“いじめ”は表面にでなくても“いじめの芽”はたくさんあるようなので、アンテナを高くして対処してほしいです。

⑨スクールカウンセラー・相談員等の増員を願います。相談しやすい環境も大事だと思います。

（４） 給食センター事業

①給食費徴収についても、目標を達成しているので、評価します。

②６台のテレビカメラシステムを活用することによって、調理現場における安全衛生管理や給食づくりの実態をＰＲすることができ、評価できます。

③地産地消の取組はとても良いと思います。これからも安全でおいしい給食をお願いします。ただ、外部から悪意を持った者が侵入する事件もありましたが、その対策はしていますか。

④幼・小・中の給食事業が行われていることは、食育の面や子どもの健康維持の面からも大変良いことであると考えます。また地産地消で「もち麦」の活用も大変良いことであると思います。

⑤もちむぎの使用をはじめとした地産地消の取組みについては、今後も継続されることを期待します。新たなメニュー開発も楽しみです。

⑥「もち麦」もその食品としての価値を、若者に理解させるためのレシピを若者から募集するようなイベントはいかがでしょうか。

（５）社会教育事業

①青少年健全育成事業の取組みについては、バラエティ豊かに行われております。今後とも児童生徒を取り巻く環境に合った内容を模索しながら進められることを望みます。

②社会教育としての人権啓発の取組みについて、バラエティ豊かに行われております。

③人権教育では、平成２８年１１月２２日に開催された福崎西中学校での人権教育実践発表会が内容も、生徒の態度も、アクティブラーニングの手法を取り入れた授業もすばらしいものだったので、平成２７年度の取り組みの成果であると思いました。（感動しました）

④自主企画による「自分たちの成人式」を厳粛な中で祝うという、よき伝統の福崎町成人式は評価できます。引き継いでいってほしいと思います。

⑤「男女共同参画」を広く町民に浸透させ推進していくためには、多様な情報提供、町民の活動拠点や集える拠点施設等の基盤整備が必要と考えます。

⑥ボランティア活動の会員高齢化については、中学校や高等学校に呼び掛けて、中学生や高校生でもできる活動を実施していけば良いとも考えます。

⑦町内で変質者出没はありますが、大きな事件になっていないので、スクールヘルパー・地域ヘルパーの協力があってのことと感謝しています。

⑧土曜英語教室やサマースクールなどの活動は、地域の教育力を活かすことのできる優れた取組みと評価できます。ボランティアの協力を求める方策について、是非とも計画的に取り組まれることを期待します。

⑨特に中学校の部活動を支援する活動の強化を望みます。中学校の部活指導が教員にもたらす負担は相当なものがあり、結果的に生徒・教師双方に悪影響が出ているように感じます。生徒がマンネリ化した練習にただ単に時間だけ束縛されるのではな

く、より多面的な活動ができる体制づくりが望まれます。そして、そのような活動から、生徒の新しい可能性や今までとは異なる強さが引き出せたら良いと思います。

（６）芸術・文化事業

①エルデホールは駅からのアクセスも良く、利用しやすいものと考えます。大きな施設ではありませんが、その分、無理せずに各種イベントが実施しやすいです。大きすぎて利用費が高く、集客率に追われるよりは、気軽に利用できるホールとして有効であると思います。

②エルデホールは、地域の芸術・文化活動の場として多種多様に活用されており、今後も幅広い企画と活用を期待します。

③エルデホールの老朽化がやや目立つ印象を受けます。一度に大きな改修を行うのは困難が予想されますので、長期的計画を示すことが重要なのではないでしょうか。

④文化センターは、各種事業を通して有効に機能しており、住民活動の拠点としての役割を果たしています。

⑤老人大学の受講生が減ってきているのは残念です。高齢化社会が進む中、生きがいのある生活をみんなで考えたいと思います。

⑥八千種研修センターも利用率が高く、地域のコミュニティーセンターとしてしっかり根付いていると思います。

⑦八千種研修センターのトイレ洋式化工事がなされ、災害時避難所としても快適に利用でき評価できます。引き続きバリアフリーに取り組んでほしいと思います。

⑧各事業において、男性の受講者や参加者を増やす取組みについては引き続き模索する必要がありそうです。その際、事業や講座単体での工夫だけでは限界がありますので、男性の地域参加という観点から、関係各所と連携した取り組みを構築する必要があるのではないでしょうか。（男の料理教室・おかし作り・園芸・手芸教室・孫育て教室等）

（７）図書館事業

①図書館の貸し出し数が、人口２万未満の町村で全国４位というのは誇らしいことだと思います。

②町内の児童生徒等の学習環境の整備という観点から、学習自習スペースの設置については早期の実現が望まれます。

③幅広い世代が利用できる自習室があればと思います。

④八千種研修センターの図書室の本棚が満杯です。本の前に本が置いてあるので、スライド式の本棚があると便利だと思います。

（８）文化財事業

①辻川山の「学問成就の道」や「望郷の丘」がより一層工夫され整備されて、歴史民俗資料館や柳田國男・松岡家記念館とともに町内外に発信できたことは評価できま

す。

②学問成就の道をはじめ、辻川界隈の観光資源が整備されつつあります。今後の重要な観光資源の一つとなりうるものですので、今後はその効果をモニタリングすることが必要です。

③辻川山公園とともに辻川山にも足を運んでもらいたいので、学問成就の道に手すりがほしいです。

④柳田國男の生家・松岡家記念館・三木家住宅整備は福崎町の宝として媚びることなく運営してもらいたいと思います。ただ、若者を引き付け、その価値を理解させる工夫は必要と考えます。ＪＲ福崎駅との間に、土日・祝日のみで良いのでシャトルバスの運行はどうでしょうか。

⑤三木家住宅保存修理工事も順調に進んでおり、完成・公開が待ち遠しいです。よみがえった風格のある大庄屋の魅力ある活用を期待します。

⑥三木家物置に昔使った道具がたくさんあったので、展示保存してほしいです。現在はこんな物に変化しているとパネル写真で示したら、子どもたちにも理解できるのではと思います。

⑦辻川界隈は福崎町全体のコミュニティスペースとしての役割を果たす可能性を有した社会資源であるとも感じます。

⑧国道・県道からの辻川界隈への案内がまだ不十分と思います。

⑨文化財を永続的に保護するためには、地域住民がその価値を理解し保全に関心を持つことが不可欠です。現在行われている保存整備事業の状況などについては、今後も引き続き公開していくことが望まれます。

（９）社会体育事業

①第１グランドの整備について、整備計画を立てることが望まれます。

②町民第３グランド「さるびあドーム」に常設の長椅子が数多く設置されて、観戦や応援、待機時に有効に利用活用されており、評価できます。

③町民第３グランド「さるびあドーム」は、幅広い世代の多くの町民が体力向上やコミュニケーションの場として利用しており、評価できます。欲を言えば、冬場の暴風対策の検討をお願いしたいと思います。

④町民第３グランド「さるびあドーム」のベンチの一部に風よけがあればいいと思います。

⑤町民第３グランド「さるびあドーム」が本格的に稼動し、健康増進に資する場所が増えたことを喜ばしく思います。一方で、本格稼動後の活用状況や今後の活用予定などについて点検する時期であるとも思われます。

⑥スポーツ公園内の第２体育館はかなり老朽化していますが、地域の避難場所としても活用できるので、改修をお願いしたいです。

⑦今後も施設の改修が当然必要ですが、ハード面の整備と合わせ、地域スポーツ振興のための新たなコンテンツの導入にも引き続き期待したいと思います。

⑧生涯スポーツ事業の推進は高齢化する社会に欠かすことのできないものと考えます。気軽にスポーツに親しみ、体を動かせる施設の存在は大切です。１２月の恒例行事となっている福崎高等学校生徒と福田地区老人会とのグランドゴルフ大会も、大いに盛り上がり、笑い声の絶えない大会となりました。異世代間交流の拠点としても大いに活用してもらいたいと思います。加えて、中学生や高校生の部活動を支援する場として、そして、トレーニング機器の整備だけではなく、トレーナーの常駐による指導も考慮してもらいたいと思います。

平成２９年１月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（５０音順、敬称略）

| | |
|---|---|
| 神戸医療福祉大学准教授 | 石　井　恒　生 |
| 兵庫県立福崎高等学校長 | 岡　野　　敦 |
| 住民代表 | 荻　野　理　恵 |
| 前民生児童委員 | 塚　本　溢　美 |

# Ⅴ　参考資料

# 平成２７年度　福崎町教育の努力目標

平成２７年（２０１５年）４月　福崎町教育委員会

＜基本方針及び長期目標＞

## 「大地に根を張り、幹を太らせ、大きく伸び行く福崎の教育」

町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして

*キャッチコピー「ひびき合う、あいさつ交わし、ささえ合い」*

＜平成２７年度重点目標＞

### １　就学前保育・教育の充実に努める。

１）「福崎町子ども・子育て支援事業計画」に基づき子ども・子育て支援事業の取組を進める。

２）町内の公立認定こども園４園及び私立認定こども園２園において、多様化する保育ニーズに対応するとともに、３歳児からの就学前教育に取り組む。

３）子育て支援センター・西部子育て学習センター・東部子育て学習センターの３ヶ所の子育て支援施設が連携し、さまざまな事業や子育てに関する情報提供、相談業務を行い、子育て支援機能の充実を図る。

４）外遊び、群れ遊びなどで遊びの創意工夫ができ、豊かな感性や思いやりの心を育てる快適な環境づくりに努める。

５）集団生活や話を集中して聞けるなどの社会性や基本的な生活習慣を育てる。

６）興味･関心、意欲･態度、判断力･表現力など、後伸びする力をつける。

７）発達障害の早期発見･早期療育を目的に、母子保健事業の各種健診や相談事業との連携を強化するとともに、発達障害児が適切な支援を継続的に受けられるよう、専門相談機関や認定こども園、学校の特別支援教育との連携を図るなど療育支援体制の整備･充実に努める。

８）認定こども園の５歳児と小学校との交流を進め、小１プロブレム解消に努める。

### ２　学校教育の充実に努める。

１）人間性や基本的な生活習慣の向上に努める。

①　「自他の生命」を尊厳し、共生社会を共により良く生きていく力を養う。

②　生活習慣（起床時間、夕食時間、就寝時間）の確立を進める。

③「ひびき合う、あいさつ交わし、ささえ合い」、「早寝、早起き、朝ごはん」、「共に学び、共に伸び行く福崎っ子」など、スローガンの活用で町ぐるみの取組を展開する。

２）確かな学力＝「生きる力」と捉え、「知育」「徳育」「体育」「食育」を推進する。

①　学習習慣と意欲・集中力を学校・家庭で共に協力して育て、学力向上に努める。

ァ）学力向上プランを実践し、基礎学力の定着と向上に努める。

ィ）小中の交流学習を推進し、緊密な連携により、校種間の円滑な接続を図る。

ウ）「福咲学力アップタイム」を継続し、反復学習による基礎・応用力をさらに高める。

エ）学力向上研究会で取りまとめた学力向上に向けた取り組みを各小中学校で実践する。

オ）公立高校普通科学区再編に関する研究と対策に取り組み、成果を得られるように努力する。

カ）朝読書や家読、「フクちゃん読書の日」を推進し、読書習慣を向上させる。

②　地域の歴史や文化財について学習する機会を増やし、「ふるさと福崎」についての興味・関心を高め、「柳田國男ふるさと賞」へと繋げる。

③　町立図書館、青少年野外活動センター、大庄屋三木家住宅、歴史民俗資料館、柳田國男･松岡家記念館など、社会教育施設との連携を図り、生涯を通じて自ら学ぼうとする意欲や関心を高

める学習活動に努める。

3）人間的なふれあいに基づく生徒指導に努める。

① 校長のリーダーシップのもと、全教職員の共通理解を図り、統一して指導に当たる。また、教職員が時間的・精神的ゆとりを持って児童生徒と向き合うことで、教育活動のさらなる充実を図ることができるよう、兵庫県「教職員の勤務の適正化新対策プラン」（平成２５年２月策定）に基づき、週１回以上の「教職員の定時退勤日」及び月２回以上の「ノー部活デー」について、教職員の共通理解のもと、町教委・学校をあげて完全実施に取り組む。

② 福崎町「健全な子どもの育成５つの方針」を周知徹底する。

③ 「いじめ防止マニュアル」の実践と体罰厳禁で教職員と児童生徒の人間的なふれあいに基づく生徒指導に努め、児童生徒間では、「互いに支え合う仲間づくり・学級づくり」など好ましい人間関係を築き、社会のルールやマナーを身につけるなどの社会性を育てる指導に努める。

④ 教育相談体制の充実を図る。

教職員のカウンセリングマインド研修や不登校指導員、スクールカウンセラーなどの配置で、児童生徒の悩み等を受け止める相談体制の充実に努める。

⑤ ブロウクン・ウインドウ論による早期発見･早期対応に努める。

ア）いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こる、という認識の下で、早期発見し、児童・生徒の力を活用しつつ早期対応・解消に努める。

イ）不登校･不登校傾向に対しては、保護者や関係機関との連携を密にしながら、社会的自立に向けた早期対応に努める。

ウ）問題行動に対しては、その背景にも目を向けながら即対応し、継続的に指導を続ける。また、「ダメなことはダメ」というゼロ・トレランス式指導も堅持する。

⑥ 小１プロブレム・中１ギャップの解消に努める。

認定こども園と小学校、小学校と中学校の連携を深める体験入学などの交流活動を促進する。

4）感動・感激、実感・体感などの体験活動の充実に努める。

① 学校行事や部活動だけでなく、地域の祭事、家事手伝い、ボランティア活動などへの参加を勧め、充実感・達成感を味わう体験活動を進める。

② 発達段階に応じた夢を持ち、夢に向かう姿勢を育てる指導に努める。

5）いのちの教育の充実に努める。

未来のパパママ教室、介護体験、乳幼児保育、小動物飼育、里山散策、花栽培などで、人間と自然を愛し、命あるものを慈しむ心を持ち、命のかけがえのなさを実感できる人づくりを進める。

6）人権教育の充実に努める。

① 同和問題をはじめ、女性、子ども、障害のある人、高齢者、外国人、いじめ、虐待、不登校、ＤＶ、セクハラなど人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。

② 不要な携帯電話・ゲーム機の使用・ブログや掲示板への誹謗中傷する書込みなど、情報モラルに関する指導に努め、人を傷つけたり犯罪に巻き込まれたりしないように周知させる。

③ 人権フェスティバルを継続開催し、すべての生活に人権意識が行き渡る人権文化の創造に努める。

④ 男性と女性が互いに人権を尊重し、責任をわかちあいつつ個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するため、「福崎町男女共同参画計画」を策定する。

7）特別支援教育の充実に努める。

① 一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画により一貫した教育が行える指導体制の整備に努める。

② *インクルーシブ教育システムを推進するとともに、通常の学級に在籍する発達障害のある、または、その傾向のある児童生徒についても同様の指導体制を整える。

③ 学習支援員、介助員等を配置し、支援を要する児童生徒の学習面・生活面の支援に努める。

＊障害のある者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的のもと、障害のある者とない者が共に学ぶ仕組み。

８）食育を推進する。
①「福崎町食育推進計画」に基づき取組を進める。
② 生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の確保、食文化の継承等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を育てる学習を進める。
③「早寝、早起き、朝ごはん」を奨め、朝ごはんの欠食をなくす取組を進める。
④「地産地消」、「不時不食」（旬の食材）、「もちむぎ」などの地元特産物食材利用に努める。
⑤ 給食費滞納の解消に努める。
⑥ 学校だよりや食育通信、ＰＴＡ会報等で食育の啓発・啓蒙を図る。
９）学童保育の拠点の拡充、活動環境の改善や指導員の資質向上を図る。
西部学童保育園、東部学童保育園の２園において、充実したきめ細やかな指導を推進する。
10）耐力度不足の田原小学校体育館の建て替えや既設体育館の吊り天井や照明器具など非構造部材の耐震化工事を進めるなど、安全安心な施設･設備の整備や維持に努め、教育環境の向上を図る。

## ３ 家庭の教育力を高める。

１）家庭教育学級の開設 （認定こども園・小中学校）
① 子どもの人間形成の基盤は「家庭」であり、研修会等により保護者の子育て支援をおこなう。
② 子育てについての親の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応した、学習会や講演会の開催を実施する。
③ 保護者の奉仕活動やスポーツ大会を開催し、連帯感の育成や子育て情報の共有に努める。
２）ゲームなどのバーチャルリアリティ体験を減らし、ノーゲームデー、ノーテレビデーの取組を進め、家事手伝いの習慣化を図る。
３）可能な限り、家族団らんの食事、特に夕食における団らんの大切さを啓発する。
４）生活習慣（起床時間、夕食時間、就寝時間）や家庭学習時間の確保など、自学自習習慣の確立を保護者の協力を求めて進める。
５）大人の規範意識の向上を図る「大人が変われば、子どもが変わる」取組を進める。

## ４ 地域の教育力を高める。

１）「環境は人をつくり、人は環境をつくる」と言われる中、すべての地域住民が子どもたちの健全育成にかかわる取組を進める。
① 研修会、講演会等により、地域住民の青少年健全育成意識を高める。
② 啓発リーフレットの作成や広報車等を活用した啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりに努める。
③ 子ども会活動の推進により各地域で異年齢交流を進め、子どもたちとふれあう取組を進め社会性を育てる。
２）各種団体に協力を求め、健全育成地域づくりに努める。
① 青少年補導委員会や PTCA の活動を支援する。
② 地域教育推進委員会（県民交流広場）の活動を支援するとともに、委員会相互の連携を図る。
３）自治会研修会の活性化を図る。
地域の活性化を図るため、人権・青少年健全育成研修を実施する。そこでは、地域の身近な課題を取り上げ、参加・能動型の研修会にし、住民の興味・関心を喚起する。
４）学校支援地域本部事業の充実を図る。
① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を学校教育に生かす取組を進める。
② 学校支援者が、児童生徒と喜びを分かち合い、自らの生きがいにつながる活動を創造する。
③ 土曜教育支援体制構築事業を利用し、英語を中心とした小学校土曜日教室を校区毎に開講す

る。

## 5 いつでも、どこでも、だれでも学びたいことが学べる生涯学習の充実に努める。

1）２人の名誉町民（柳田國男・吉識雅夫）を顕彰し、郷土への愛着と誇りを持つ子どもを育てる。

① 地域の歴史や文化をテーマに優れた研究を行った児童生徒に対し、「柳田國男ふるさと賞」を贈る。子どもたちが、氏の功績や郷土の歴史を再認識する取組を進める。

② 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学分野で優れた研究、観察、製作を行った児童生徒に対し、福崎町「吉識雅夫科学賞」を贈るとともに、広く町民に氏の顕彰を図るため、遺族から寄贈された遺品の活用に努める。

2）芸術・文化活動の推進に努める。

① 開館１０周年を迎える図書館では、後世に残しておかなければならない資料、時代の流れに応じた資料を選定し、利用者の求めに合う蔵書構成に努める。

② 「福崎町子どもの読書活動推進計画」に基づき子どもの読書習慣が身につくよう、毎月 29 日を『フクちゃん読書の日』として、学校と連携し各種事業を展開するとともに、家庭への啓発活動に努める。

③ 町内小中学生へ配布している「読書ノート」に読書記録を残すことで、読書への関心を高め、楽しんで読書をする環境作りに努める。また、一般の方にも読書を促すよう「おすすめ本リスト」を希望者に配布する。

④ 図書館応援隊を支援し、特色ある図書館活動を推進する。

⑤ エルデホールの自主事業は、地域住民の要望に沿ったもの、若者層をターゲットにしたものなど、それぞれのテーマに分け実施する。なお、平成 27 年度から友の会制度を発足し、より多くの方に自主事業に足を運んでいただくよう情報発信をおこなう。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業や地域文化の底上げを目的に、芸術文化の各種催しを企画立案できる人材を育成する文化プロデューサー育成事業を継続実施する。

3）地域の歴史文化遺産の掘り起こしに努める。

① 歴史民俗資料館は、郷土の歴史･文化に関する資料収集･~~保管~~保存･展示に工夫を加え、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男･松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。また、歴史民俗資料館の特別展では、『戦後７０年』をテーマに開催し、地域の豊かな歴史・文化に親しめるよう取り組む。また、記念館では開館４０周年を記念し、松岡鼎の功績を紹介する記念企画展を開催し、松岡五兄弟の顕彰をいっそう進める。

② 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史遺産掘り起こしについて取り組む。

③「文化財シンポジウム」を開催し、講演会やシンポジウムを通じて、地域の歴史文化遺産を未来へ伝えるための普及啓発を行う。

4）柳田國男･松岡家記念館、歴史民俗資料館等で形成される文化ゾーンを軸とした文化財の保護・活用の推進に努める。

① ２回目を迎える「柳田國男検定」は、國男の功績や生誕地福崎町の発信に努める。検定試験は、小・中学生にも多く参加してもらえるよう取り組み、検定を通じて、柳田國男の功績を知り、理解を深めていただく。

② 第３６回山桃忌は柳田國男生誕１４０年を記念し、「柳田國男の『故郷七十年』」をテーマに、『故郷七十年』に託された柳田國男のメッセージを考えるシンポジウムをエルデホールにて実施する。

③ 大庄屋三木家住宅の保存修理工事が~~５~~６年目となり、引き続き主屋部分の復元工事を進めると同時に、傾きの激しい北土塀の修理工事を実施する。地元や各種委員会、有識者の意見を交え、管理・活用計画の検討を引き続き実施する。

④ 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館が住民に愛され親しみのある施設となるよう各種事業に取り組む。

⑤　辻川山周辺（特に「学問成就の道」）を町民の憩いの場として住民が気軽に利用できるよう、地元や各種団体の協力を得ながら引き続き整備、広報に努める。

⑥　地域の先祖の営みを紹介するため、遺跡から読み取れる、当時の生活の紹介や発掘された出土品を展示するなど住民に埋蔵文化財への関心を高める。

⑦　神戸大学工学部と共同し、辻川界隈のジオラマ模型制作に取り組む。

5）社会体育、野外活動などのスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに努める。

①　新施設第３グランド（さるびあドーム、スケートボード場等）を広く住民に周知し、健康増進や地域振興の拠点としての活用を促す。

②　スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体の育成・発展に努める。

③　総合型地域スポーツクラブのサポートに努める。

④　各種健康スポーツ教室・大会等の充実に努め、町民の体力向上を図る。

⑤　自然景観が優れた野外活動センターを住民に周知、利用を促す広報に努める。

6）参加しやすく魅力ある公民館活動の運営に努める。

①　学習や活動を通じて人と人との交流を深めるとともに、学習成果の発表で生き甲斐を高める。

②　町民の要望に応える多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容の充実に努める。

③　若年世代の参加を図るよう努める。

## ６ 開かれた教育委員会の推進に努める。

1）「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴う教育委員会制度の改善点を踏まえ、総合教育会議等で町長部局との連携をさらに強めることで、よりよい教育行政の推進を図る。

2）所管施設の現状を認識するために、定期的に所属長との面談や現場視察をする。

3）「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく「事務事業点検評価」を引き続き実施、公表し、住民から広く意見を求めるように努める。

4）新教育委員会制度に関する研修･研鑽をさらに深め「不易」「流行」を見極める。

# 福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

（目的）

第１条　福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

（役割）

第２条　評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

（定数）

第３条　評価委員の数は、３名程度とする。

（任期）

第４条　評価委員の任期は、１年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

２　評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

３　評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

（委嘱）

第５条　教育委員会は、委嘱状を交付する。

（教育委員会事務事業評価委員会）

第６条　教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

２　委員会は、教育長が招集する。

３　委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

（守秘義務）

第７条　評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

（その他）

第８条　この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附　則

この要綱は、平成２１年７月１０日から施行する。